

甲州市母子保健計画

すこやか親子こうしゅう

中間評価報告書

令和2年3月

甲州市

目次

第1章	母子保健計画 中間評価の実施にあたって.....	1
	1. 中間評価実施の経緯.....	1
	2. 甲州市母子保健計画「すこやか親子こうしゅう」の基本理念.....	1
	3. 計画の主要課題.....	1
第2章	中間評価の目的と方法.....	3
	1. 中間評価の目的.....	3
	2. 中間評価の方法.....	3
	1) 指標の評価方法.....	3
	2) 目標の再設定について.....	3
第3章	中間評価の結果.....	4
	1. 指標の目標達成状況.....	4
	2. 主要課題別の評価と今後の取り組み.....	6
	1) 基盤課題 A_妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援.....	6
	2) 基盤課題 B_子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり.....	11
	3) 重点課題①_胎児期からの健康な生活習慣の支援.....	15
	4) 重点課題②_「育てにくさ」を感じる親に寄り添う支援.....	19
	5) 重点課題③_妊娠期からの児童虐待予防への取り組み.....	23
第4章	最終評価に向けた指標と目標.....	27
	1. 指標の追加・修正.....	27
	2. 最終評価目標値の見直しと設定.....	28
	3. 指標と最終評価目標一覧.....	30
	4. 評価指標一覧.....	33
	〈参考資料〉	
	1. 「すこやか親子こうしゅう」推進体制図.....	39
	2. 甲州市母子保健事業体系図.....	40
	3. 中間評価の経過.....	41

第1章 母子保健計画中間評価の実施にあたって

1. 中間評価実施の経緯

甲州市母子保健計画「すこやか親子こうしゅう」は、国の「すこやか親子21(第2次)」の趣旨を踏まえ、母子保健に関する効果的な施策を総合的に推進するため、妊娠・出産・子育てに関する現状及び課題に即した母子保健施策の位置づけや方向性を示した計画です。計画期間は平成27年度から平成36(令和6)年度までの10年間であり、平成31(令和元)年度に中間評価を行うこととなっていることから、計画の進捗状況について評価を行いました。

2. 甲州市母子保健計画「すこやか親子こうしゅう」の基本理念

「すべての親と子が健やかで心豊かに暮らせるまち こうしゅう」

3. 計画の主要課題

本計画の基本理念を計画策定から10年後に実現するため、以下の2つの「基盤課題」と3つの「重点課題」を設定しています。2つの基盤課題は、妊娠・出産・子育て、子どもの成長など様々なライフステージにおいて重要な支援や地域づくりの基盤を表しています。さらに3つの重点課題は、甲州市が特に重点を置く母子保健課題を示しています。

■基盤課題 A. 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援

妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援体制を構築し、安心して子育てができるよう支援します

■基盤課題 B. 子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり

妊産婦や子どもの成長を見守り、親子を孤立させない地域づくりを目指します

■重点課題 ①. 胎児期からの健康な生活習慣の支援

親子で健康的な生活習慣を身につけ、子どもが心身ともに健やかに成長できるよう支援します

■重点課題 ②. 「育てにくさ」を感じる親に寄り添う支援

親や子どもの多様性を尊重し、育てにくさを感じる親を支えます

■重点課題 ③. 妊娠期からの児童虐待予防への取り組み

親子の愛着を育むことで、子どもの虐待を予防するよう取り組みます

すこやか親子こうしゅう



すべての親と子が健やかで心豊かに暮らせるまち こうしゅう



第2章 中間評価の目的と方法

1. 中間評価の目的

計画策定から5年間の取り組み状況を踏まえて、目標の達成状況や様々な取り組みに関する評価を実施し、評価結果を今後の母子保健活動の更なる取り組みに反映します。

2. 中間評価の方法

中間評価では、本計画の2つの基盤課題と3つの重点課題に対し設定された評価指標（84指標）について、個別に分析し達成状況を評価します。また、参考とする指標については、推移を確認します。

1) 指標の評価方法

各指標のベースライン値、現状値（中間評価値）、中間評価の目標から次の通り分類し評価します。また、計画策定後に追加調査し目標値を設定することとなっていた指標については、中間評価及び最終評価時の目標が設定されていないため、「e. 評価できない」に分類します。

- | |
|-------------------------|
| a. 改善した ①目標を達成した |
| b. 改善した ②目標に達していないが改善した |
| c. 変わらない |
| d. 悪くなっている |
| e. 評価できない |

2) 目標の再設定について

以下の指標については、新たに最終目標値を設定します。

- (1) 計画策定時に設定した最終評価時の目標が、「増加」「減少」となっている指標の一部について、ベースライン値や現状値を踏まえて数値目標を設定します。
- (2) 計画策定後に追加調査を行った指標については、現状値を踏まえて、今回新たに最終目標を設定します。

第3章 中間評価の結果

1. 指標の目標達成状況

84の指標について評価した結果、各指標の中間目標の達成状況は、表1のとおりでした。「改善した（目標を達成した）」「改善した（目標に達していないが改善した）」を合わせると27.4%となっており、全体の約3割の指標が改善しています。今回、変化がみられなかった指標は31.0%、悪化した指標は17.9%でした。また、今回の中間評価で評価できなかった指標が全体の約1/4を占めていますが、このうち15指標については、計画策定後に調査を開始し、今回の中間評価で改めてベースライン値を設定したため、目標値の設定がなく評価できない項目となっています。

表2は、基盤課題A、Bについて、表3は重点課題①、②、③についての達成状況を示しています。課題別の達成状況を見ますと、改善した指標の割合が最も高かったのは、重点課題②（「育てにくさ」を感じる親に寄り添う支援）でした。悪化した指標の割合が高かったのは、基盤課題A（妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援）と基盤課題B（子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり）であり、計画の最終評価に向けて、さらなる取り組みの強化や内容の見直しを図る必要があります。

重点課題①（胎児期からの健康な生活習慣の支援）と重点課題③（妊娠期からの児童虐待予防への取り組み）はいずれも変化がみられなかった指標が多く、今後も経過をみながら、工夫して取り組むことが必要な結果となっています。

表1 指標の目標達成状況

評価		項目	%
a	改善した（目標を達成した）	8	9.5
b	改善した（目標に達していないが改善した）	15	17.9
c	変わらない	26	31.0
d	悪くなっている	15	17.9
e	評価できない（策定後追加調査項目含む）	20	23.8
計		84	100

表2 基盤課題の評価状況

評価	基盤課題 A			基盤課題 B		
	健康水準	健康行動	環境整備	健康水準	健康行動	環境整備
	6項目	8項目	6項目	3項目	4項目	1項目
a	0	0	2	0	0	1
	10.0%			12.5%		
b	1	2	0	0	1	0
	15.0%			12.5%		
c	0	2	2	1	1	0
	20.0%			25.0%		
d	1	2	2	2	0	0
	25.0%			25.0%		
e	4	2	0	0	2	0
	30.0%			25.0%		
計	20項目			8項目		

表3 重点課題の評価状況

評価	重点課題①			重点課題②			重点課題③		
	健康水準	健康行動	環境整備	健康水準	健康行動	環境整備	健康水準	健康行動	環境整備
	10項目	8項目	3項目	6項目	9項目	1項目	9項目	8項目	2項目
a	0	0	2	0	0	0	3	0	0
	9.5%			0%			15.8%		
b	0	2	0	3	4	1	1	0	0
	9.5%			50.0%			5.3%		
c	9	4	0	0	0	0	2	3	2
	61.9%			0%			36.8%		
d	1	1	1	1	1	0	0	3	0
	14.3%			12.5%			15.8%		
e	0	1	0	2	4	0	3	2	0
	4.8%			37.5%			26.3%		
計	21項目			16項目			19項目		

2. 主要課題別の評価と今後の取り組み

1) 基盤課題 A_妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援

基盤課題A の目標	妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援体制を構築し、安心して子育てができるよう支援する
--------------	---



めざす姿(健康水準)	
目標	<ul style="list-style-type: none"> 女性のライフステージの転換期である産前・産後の時期を安心して過ごすことができ、次の子ども産みたいと思える。 親が子どもを可愛いと感じることができ、周囲の温かいサポートを受けながら、安心して子育てができる。
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ★妊娠・出産について満足している者の割合 ★ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合 ★うつ傾向の産婦の割合



市民の取り組み(健康行動)	
目標	<ul style="list-style-type: none"> 妊婦、産婦が、自分自身の心身の健康について考えることができ、必要な健康行動がとれる。 子どもを可愛いと思うことができ、安心して子育てができる。 子育てに悩む時に、自ら相談することができる。 夫婦で協力して子育てができる。 家族や身近な人が子育てに協力することができる。
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ★妊娠中、健康管理に積極的に取り組んだ母親の割合 ★子育てについて気軽に相談できる人がいる親の割合 ★出産1か月時の母乳育児の割合 ★育児に主体的に関わっている父親の割合



市民を支える取り組み(環境整備)	
目標	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠届出時から出産、子育てに至るまで継続した支援を行う。 関係機関と連携し、両親に必要な情報を提供する。 産前・産後に母親が休養できる場所を提供する。 子育てについて学び、相談できる場を提供する。 乳幼児健康診査等を通じ、母親が自信をもって子育てできるよう支援する。 子どもの時から、命の大切さを学ぶことができるよう支援する。 母子保健、子育て支援の関係機関等が、相互に情報交換したり、課題を共有し解決に向けて検討する場を持つ。 授乳しやすい環境づくり。 転入児の全数把握
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ★マタニティクラスの初産婦の参加率 ★乳幼児健康診査 未受診児フォロー率 ★妊婦訪問率 ★新生児・産婦訪問率 ★産前・産後ママのほっとスペース利用者数

参考指標

★妊産婦死亡率	★妊婦健康診査の受診率
★乳幼児死亡率	★11週以下の妊娠届出者の割合
★周産期死亡率	★2か月児訪問率
★小児救急電話相談(#8000)を知っている割合	★思春期事業(赤ちゃんふれあい体験)の実施状況
★1歳6か月までの四種混合・麻しん・風しんの予防接種率	★関係機関とのネットワーク会議の開催状況
★子どものかかりつけ医をもつ親の割合(医師、歯科医師)	★妊娠届出時の個別健康相談の実施率
★妊娠・出産に関して夫の理解や対応に満足できた母親の割合	

〈目標の達成状況〉

改善①: 目標を達成した

改善②: 目標に達していないが改善した

基盤課題A 指標		年齢/区分	ベースライン	現状値	目標値(5年後)	目標値(10年後)	中間評価
【健康水準】	妊娠・出産について満足している者の割合	3・4か月児	100.0%	94.5%	100%の維持	100%の維持	悪化
	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3・4か月児	86.7%	99.3%	増加	増加	改善②
		1歳6か月児	—	75.2%	※	※	策定後追加調査
		3歳児	—	68.8%	※	※	策定後追加調査
	うつ傾向の産婦の割合	母子手帳交付時	46.5%	43.2%	※	※	評価できない
		産婦健診(1か月後)	—	6.3%	※	※	策定後追加調査
【市民の取り組み】	妊娠中、健康管理に積極的に取り組んだ母親の割合	3・4か月児	70.0%	62.8%	増加	増加	変わらない
	子育てについて気軽に相談できる人がいる親の割合	3・4か月児	100.0%	96.9%	100%の維持	100%の維持	悪化
		1歳6か月児	—	96.9%	※	※	策定後追加調査
		3歳児	—	97.1%	※	※	策定後追加調査
	出産1か月の母乳育児の割合	3・4か月児	66.7%	58.3%	増加	増加	悪化
	育児に主体的に関わっている父親の割合	3・4か月児	60.3%	66.2%	増加	増加	改善②
		1歳6か月児	56.6%	63.0%	増加	増加	変わらない
3歳児		51.2%	64.0%	増加	増加	改善②	
【市民を支える取り組み】	マタニティクラスの初産婦の参加率	参加率	50.0%	26.8%	増加	増加	悪化
	乳幼児健康診査未受診児フォロー率	未受診率	2.4%	3.0%	減少	減少	変わらない
		未受診児フォロー率	96.7%	100.0%	100.0%	100.0%	改善①
	妊婦訪問率	訪問率	93.7%	74.1%	増加	増加	悪化
	新生児・産婦訪問率	訪問率	91.7%	88.1%	増加	増加	変わらない
	産前・産後ママのほっとスペース利用者数	利用者数	年間396人(推定)	715人	維持	維持	改善①

【現状と課題】

〇めざす姿（健康水準）

* 妊娠・出産について満足している母親は、ベースライン値が100%であったため中間評価では「悪化（94.5%）」となっていますが、全国の直近値は82.8%（令和元年7月「健やか親子21（第2次）」の中間評価等に関する検討会報告）であるため、本市は高い水準で推移していると言えます。

* ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間があると回答した母親（3か月児健診時）は増加しています。本市が行う「産前産後ママのほっとスペース」や市内の子育て支援センター、児童センター、民生児童委員・主任児童委員が運営する子育てサロンなど、産後に母親が子どもと一緒にゆったりと過ごせる居場所づくりに力を入れて取り組んだ成果の現れと推測します。

* うつ傾向の産婦については、計画策定時に調査を行っていなかったため、「評価できない」指標となっています。参考として、母子健康手帳交付時アンケートの「うつ傾向」に関する項目の集計結果を見てみると、あまり変化はありませんでした。本市では平成

30年度から新たに産婦健康診査を導入しているため、今回の中間評価で新たに「産後うつ」に関する指標及び目標を設定する必要があります。

○市民の取り組み（健康行動）

- *健康管理に積極的に取り組んだ妊婦は、3か月児健診のアンケート結果では変化が見られませんでした。近年は就労妊婦が多く思うように仕事が休めなかったり、就労の有無に関わらず、毎日の生活に追われ自分自身の健康管理が二の次になりがちな現状も推測されるため、実際に健康行動がとれる妊婦を増やしていく必要があります。
- *子育てについて気軽に相談できる人がいると回答した母親（3か月児健診時）は、減少しています。核家族化が進み、育児の担い手が両親だけであったり、子育ての悩み相談をインターネットに頼る傾向が依然としてあります。
- *出産1か月時の母乳育児の割合は減少しています。出産後の疲労回復の程度が母乳分泌にも大きく影響するため、まずはしっかり休養や栄養を摂ることの大切さを周知し、環境調整したり母乳相談を活用するなど、自発的な行動を促す必要があります。また、母乳育児が産婦にとって過度な負担にならないよう、配慮していくことも重要です。
- *育児に主体的に関わる父親の割合は、3・4か月児と3歳児では「改善」、1歳6か月児では「変わらない」という結果でした。仕事などの理由により子どもと関わる時間が確保できなかったり、育児にどう関わったら良いかわからないといった父親からの相談もあることから、多様化する子育て事情の中で父親が果たすべき役割や、父性とは何であるかなど、当事者目線で少し掘り下げて考えていくことも必要かもしれません。

○市民を支える取り組み（環境整備）

- *本市が実施するマタニティクラスの参加率が急激に減少しているため、内容の見直しを図ることが必要です。
- *集団で実施している乳幼児健康診査（3か月児、7か月児、1歳6か月児、2歳児、3歳児、5歳児）の未受診率に変化はありませんでしたが、未受診児のフォロー率は100%と向上しました。
- *妊婦訪問率は悪化しています。就労妊婦の増加などにより、妊婦訪問を希望する妊婦が年々減少していたことから、これまで原則1人につき2回実施していた妊婦訪問を、平成30年度から原則1回へ変更した影響が考えられます。妊婦訪問は、個々の状況に応じた専門職からの助言が受けられる機会であり、妊婦自身の健康管理意識の向上にもつながる事業であることから、個別に声かけするなどして訪問を受ける妊婦を増やすような取り組みの強化が必要です。

* 新生児・産婦訪問率に変化は見られませんでした。県外等での里帰り出産や海外居住を理由とする未訪問ケースが見受けられます。里帰り出産の場合は、自治体間の連携により、産後に訪問サービスを受けられることもあるため、妊娠期にこれらに関する情報提供を行う必要があります。

* 産前産後ママのほっとスペースの利用者は、開所時と比較し大幅に増加しました。実人数で見ますと産婦の約6割が利用しており、産後の比較的早い時期から利用される方が増えています。ほっとスペースの利用をきっかけに、他の子育て支援・母子保健サービスへつながったり、妊娠・出産に関する情報収集の場としても活用されています。

【事業評価】

* 塩山保健福祉センターを「子育て世代包括支援センター」に位置付け、母子保健コーディネーター（保健師・助産師）による相談窓口「すこやか親子相談」を平成27年度に開設しました。市の地区担当保健師や各種母子保健事業とも連携し、児の発育・発達や子育て全般、母乳相談など幅広い相談ニーズに対応していますが、認知度が低いため、さらなる周知が必要です。

* 母子健康手帳交付（妊娠届出）時に、保健師による健康相談を全数実施しました。妊婦と共に「子育て支援プラン」を作成し、妊娠期の健康管理や各種制度について説明するほか、妊娠・出産への想いを確認するなどして母性を育む支援を行っています。

* ママのあんしんテレフォン事業は、利用件数が減少しています（H26年度715件→H30年度212件）。産前産後ママのほっとスペースやすこやか親子相談など、他の相談サービスが充実したことが要因と考えます。

* 出産直後の疲労回復や育児不安の軽減を図ることを目的とした宿泊型産後ケア事業（健康科学大学 産前産後ケアセンター「ママの里」）を、平成28年2月から新たに開始しました。利用者には大変好評である一方で、産婦の3～5%程度の利用にとどまっており、本サービスを必要とする産婦が適切に利用できるよう、さらなる周知や支援が必要です。

* 外国出身者の妊産婦が増えており、外国語版の母子健康手帳を交付したり、翻訳アプリなどを活用して必要な情報が届くよう工夫していますが、未だ十分とは言えません。また、子育て当事者同士の交流の場へ参加することも躊躇しがちなため、孤立化を予防するための支援が必要となっています。

* 多胎児（双児）の妊娠期の健康管理や育児は特有の困難さがあり、さらなる支援が必要です。また、当事者同士の交流（情報交換）の場を求める声もあります。

【評価のまとめ】

基盤課題Aの目標は、『妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援体制を構築し、安心して子育てができるよう支援する』です。従来からの母子保健活動に加え、本計画の要として新規導入した産後ケア事業や産前産後サポート事業、相談体制の充実等により、産前産後における安心感の醸成には一定の成果が得られました。

しかし、妊娠期からの健康管理に対する意識の希薄さや産後うつへの対応、育児に悩んだ時に相談できる人がいないなど、取り組みの強化が求められる結果も出ています。また、産前産後のみならず、その先の保護者に対しても継続した支援が必要であることから、中間評価を期に必要な評価指標や目標を新たに追加設定し取り組みます。

【今後の取り組み】

- * 妊娠期は生涯を通じた健康づくりを考える上で大変重要な時期であることから、一人でも多くの妊婦がマタニティクラスに参加し、自身の生活習慣を振り返ったり、出産に臨むための心身の準備ができる機会となるよう、妊婦のニーズに合ったマタニティクラスの開催について検討・実施します。また、より個別性の高い支援が可能な妊婦訪問事業の活用についても周知を強化します。
- * 市の母子保健事業や「産前産後ママのほっとスペース」、市内の子育て支援センター、児童センター、子育てサロンなどが連携し、質の向上を図りながら引き続き切れ目ない支援に取り組みます。
- * 子育て支援者間のネットワーク化や支援スキルの向上を目的とした研修会の開催などにも引き続き取り組みます。
- * 子どもの育ちは千差万別であるため、子どもが発するメッセージや発達段階に応じて子育てしていくことが大切です。身近に気軽に相談できる人がいることは、安心した子育てにもつながるため、専門家による相談窓口など、さらに周知啓発を進めます。
- * 産後うつの早期発見・早期支援のため、産婦健康診査を継続実施するとともに、「エジソンバラ産後うつ病質問票（EPDS）」の活用により、出産直後の不安が高まる時期にタイムリーかつ適切なサポートにつながるよう産科医療機関と連携して支援します。
- * 母乳育児を希望する産婦が適切な支援を受けられるよう、母乳相談窓口等を周知するほか、産科医療機関とも連携を図ります。
- * 多胎児（双児）特有の育児等の困難さに寄り添った支援を行うほか、当事者同士が交流できる機会を設けます。

2) 基盤課題B_子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり

基盤課題B の目標	妊産婦や子どもの成長を見守り、親子を孤立させない地域づくり
--------------	-------------------------------



めざす姿(健康水準)	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人が妊産婦や子どもに声をかけ、相互にふれあいながら子育てを楽しむことができる。 ・甲州市で子育てをしたいと親が思える。
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ★甲州市で子育てをしたいと思う親の割合 ★妊娠中、仕事を続けられることに対して職場から配慮をされたと思う就労妊婦の割合 ★次の子を産みたいと思う母親の割合



市民の取り組み(健康行動)	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が妊産婦へ配慮することができる ・母親が地域の交流の場に参加できる ・母親が就労しながら出産でき、仕事と子育ての両立ができる ・子育て中の親や子に、地域の人が積極的に声をかける
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ★子どもを連れて外出した時に声をかけてくれる地域の人がいる割合 ★つどいの広場に参加する母親の割合



市民を支える取り組み(環境整備)	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・主任児童委員等と連携を図り、地域での見守りを推進する。 ・親同士の交流を目的とした育児支援の充実 ・親同士の交流の場の提供と、親と親をつなぐ支援の充実 ・ママのあんしんネットワーク会議の開催 ・育児を支援するボランティア等の育成支援 ・子育てについての理解が深まるよう、普及啓発を行う。 ・マタニティマークの普及啓発
評価指標	★つどいの広場後の自主グループ化率

参考指標
★合計特殊出生率
★マタニティマークを妊娠中に使用したことのある母親の割合
★ママあんしんネットワーク会議の開催数

〈目標の達成状況〉

改善①: 目標を達成した

改善②: 目標に達していないが改善した

基盤課題B 指標		年齢/区分	ベースライン	現状値	目標値 (5年後)	目標値 (10年後)	中間評価
【健康水準】	甲州市で子育てをしたいと思う親の割合	3・4か月児	94.2% (3時点平均)	95.0% (3時点平均)	増加	増加	変わらない
		1歳6か月児					
		3歳児					
【健康水準】	妊娠中、仕事を続けられることに対して職場から配慮をされたと思う就労妊婦の割合	3・4か月児	100.0%	89.7%	100%の維持	100%の維持	悪化
	次の子を産みたいと思う母親の割合	3・4か月児	63.4%	52.7%	増加	増加	悪化
	【市民の取り組み】	子どもを連れて外出した時に声をかけてくれる地域の人がいる割合	3・4か月児	93.3%	91.7%	増加	増加
1歳6か月児			—	93.3%	※	※	策定後追加調査
3歳児			—	83.7%	※	※	策定後追加調査
【市民の取り組み】	つどいの広場に参加する母親の割合	参加率	28.7%	44.4%	増加	増加	改善②
	【環境整備】	つどいの広場後の自主グループ化率	グループ化率	100.0%	100.0%	100%の維持	100%の維持

【現状と課題】

〇めざす姿（健康水準）

- * 甲州市で子育てをしたいと思う親の割合に変化はありませんでした。現在、子育て中の親が現状の母子保健や子育て支援サービスに満足し、この地域で子育てしたいと思えることは、少子化対策の観点からも重要です。
- * 妊娠中に仕事を続けることに対して職場から配慮されたと感じている就労妊婦の割合は悪化しています。約1割の就労妊婦が「配慮されなかった」と感じており、雇用形態や職場の状況により、妊娠を期に離職せざるを得ない現状も一部で続いていると推測されます。
- * 次の子を産みたいと思う母親の割合は悪化しています。この指標は、現在の子どもの数にも大きく影響されることから、今後は第1子を子育て中の母親に限定して指標の推移をみていくことを検討します。

○市民の取り組み（健康行動）

*子どもを連れて外出した時に声をかけてくれる地域の人がいる割合に変化はありませんでしたが、9割程度は「いる」と回答しており、これは比較的高い結果と推測します。

*つどいの広場に参加する母親は増加しています。子育て当事者同士が交流するきっかけづくりの場として定着しつつあります。

○市民を支える取り組み（環境整備）

*つどいの広場後の自主グループ化率は100%を維持しています。つどいの広場卒業後も母親同士が気軽に集まれるよう、1歳までの児を子育て中の母親に限り、塩山保健福祉センター2階（産前産後ママのほっとスペース）を1グループ月1回を限度に開放しています。これらの効果により自主グループ化が進んだと思われます。

【事業評価】

*平成26年度に「ママのあんしんネットワーク会議」が発足し、「自立支援」「子育て支援情報の周知」「孤立予防」「市民全体のネットワーク化」「必要な社会資源、サービス等の充実」などをテーマに、意見交換や実践活動を行いました。

*民生児童委員・主任児童委員と連携し、地区の定例会や児童福祉部会において、子育て世代を取り巻く状況や市の母子保健サービス等について周知し、課題解決に向けて意見交換を行いました。市内8地区で開催されている子育てサロンは、地域における貴重な子育て支援の場となっています。

*子育て支援センターや児童センターは、親子で気軽に参加したり育児相談の場として、子育て当事者に定着しています。

*ママのあんしんネットワーク会議がきっかけとなり、産前産後ママのほっとスペースや「つどいの広場」など、市が行う事業に子育て支援センターや児童センター、認定こども園のスタッフが参加協力する仕組みが、平成27年度から始まりました。

*甲州市社会福祉協議会と連携し、育児ボランティアの養成を行いました。また、ファミリーサポート事業の協力会員養成講習会においても、子育て支援や母子保健の現状について啓発しました。

【評価のまとめ】

基盤課題Bの目標は、『妊産婦や子どもの成長を見守り、親子を孤立させない地域づくり』です。この地域で子育てしたいと願う保護者は多く、地域からの声かけも比較的盛んになされている結果が出ましたが、目標には届きませんでした。当事者同士の交流の機会も増えてきていることから、引き続きこれを支援していく必要があります。

また、平成26年度に発足した「ママのあんしんネットワーク会議」を通じて、市内の母子保健・子育て支援関係者や地域の民生児童委員・主任児童委員、学識経験者等が一同に会し、顔の見える関係づくりや適切な支援のあり方等について検討してきました。平成30年度からは、この会議に子育て当事者も加わり、さらに実態に即した検討や実践活動につながっています。今後もこれらの活動を通じて、人と人のつながりの中で子どもたちが伸び伸びと成長し、親子が孤立することがないように取り組んでいくことが重要です。

【今後の取り組み】

- *引き続き、ママのあんしんネットワーク会議において子育てしやすい地域づくりに向けて検討し、実践活動を行います。
- *あいさつを交わしたり、子育て世帯とそれを取り巻く地域住民との交流が各地域に広がるよう、民生児童委員・主任児童員等と連携して取り組みます。
- *つどいの広場等を通じて子育て当事者の交流を促します。また、他者との交流が苦手であったり、それを望まない母親もいるため、多様性を尊重しつつ孤立化しないための働きかけについても併せて検討します。
- *就労妊婦に各種制度の活用について周知します。職場や上司・同僚の理解が得られるよう市が直接働きかけることは難しい状況ですが、こういった課題があることを広く発信することで、配慮が受けられる環境づくりに少しずつでも近づけていきます。

3) 重点課題①_胎児期からの健康な生活習慣の支援

重点課題① の目標	生涯に渡り、自ら健康管理ができる力が育まれる
--------------	------------------------



めざす姿(健康水準)	
目標	・親子で健康的な生活習慣を身につけ、子どもが心身ともに健やかに成長できる。
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ★全出生数中の低出生体重児の割合 ★虫歯のない3歳児の割合 ★児童・生徒における痩身・肥満傾向児の割合



市民の取り組み(健康行動)	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中から規則正しい食生活、生活リズムを身につけ、適度な運動を心がける。 ・子どもの発達に応じた、適切な生活習慣について親が理解する。 ・個々の生活スタイルに応じて、子どもが適切な生活習慣を身につけられるよう、親が工夫して取り組むことができる。 ・子ども自らが健康的な生活習慣を理解し、自ら行動できる。
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ★妊娠中の妊婦の喫煙率 ★妊婦で朝食を全く食べない者の割合 ★子どもの就寝時間が22時以降の児の割合 ★戸外でよく遊ぶ児の割合



市民を支える取り組み(環境整備)	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達に応じた適切な生活習慣について、学べる場を提供する。 ・子どもが適切な生活習慣を身につける重要性について、社会全体の意識が高まるよう普及啓発する。 ・保育所(園)や学校等と連携し、子どもたちの健康的な生活習慣を身につけられるよう支援する。 ・食生活改善推進員と協力し、子ども達や子育て世代へ「塩山式手ばかり」等の普及啓発を行う。
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ★第1子のすくすく学級への参加率 ★子ども料理教室の開催数、参加人数

参考指標 <ul style="list-style-type: none"> ★虫歯のない児の割合 ★育児期間中の両親の喫煙率 ★妊娠中の妊婦の飲酒率 ★おやつを時間を決めて与えている割合 ★テレビを1日4時間以上見る児の割合 ★仕上げ磨きをする親の割合

〈目標の達成状況〉

改善①: 目標を達成した
改善②: 目標に達していないが改善した

重点課題① 指標		年齢/区分		ベースライン	現状値	目標値 (5年後)	目標値 (10年後)	中間評価
【健康水準】 目指す姿	全出生数中の低出生体重児の割合	低出生体重児		11.4%	7.9%	減少	減少	変わらない
	虫歯のない3歳児の割合	3歳児		85.8%	77.9%	増加	増加	悪化
	児童・生徒における痩身傾向児の割合	小学生	男子	8.5%	7.0%	維持・減少	維持・減少	変わらない
			女子	13.6%	14.5%			変わらない
		中学生	男子	7.0%	7.5%	維持・減少	維持・減少	変わらない
			女子	7.8%	7.9%			変わらない
	児童・生徒における肥満傾向児の割合	小学生	男子	18.0%	19.2%	減少	減少	変わらない
			女子	10.2%	8.7%			変わらない
		中学生	男子	12.6%	14.1%	減少	減少	変わらない
			女子	10.9%	10.9%			変わらない
【市民の取り組み】 市民の取り組み	妊娠中の妊婦の喫煙率	3・4か月児		0%	2.0%	※	※	評価できない
		母子手帳交付時		4.6%	1.9%	減少	減少	改善②
	妊婦で朝食を全く食べない者の割合	妊婦		10.1%	9.0%	減少	減少	変わらない
	子どもの就寝時間が22時以降の児の割合	1歳6か月児		17.8%	11.0%	減少	減少	改善②
		3歳児		27.0%	28.2%	減少	減少	変わらない
		5歳児		29.2%	30.5%	減少	減少	変わらない
戸外でよく遊ぶ児の割合	3歳児		100.0%	99.0%	100%の維持	100%の維持	悪化	
	5歳児		90.6%	87.7%	増加	増加	変わらない	
【市民を支える取り組み】 環境整備	第1子のすくすく学級への参加率	参加率		68.3%	49.8%	増加	増加	悪化
	子ども料理教室の開催数、参加人数	回数		22回	22回	維持	維持	改善①
		参加延数		787人	772人	維持	維持	改善①

【現状と課題】

〇めざす姿（健康水準）

* 低出生体重児の割合に変化はありませんでしたが、全国の直近値 9.4%（平成 29 年厚生労働省「人口動態統計」）を下回っています。要因は様々ですが、生活習慣を背景とするリスク要因をできるだけ改善することが今後も重要です。

* 虫歯のない 3 歳児の割合は悪化しています。歯の健康は児の発育・発達面からも重要であるため、甲州市では特に力を入れて取り組んできましたが、現時点では結果に反映しきれていません。効果的な意識啓発や関係機関等と連携した取り組みがさらに必要です。

* 児童・生徒における痩身・肥満傾向児の割合に変化はありませんでした。今後も学校保健と連携した取り組みが重要です。

○市民の取り組み（健康行動）

- * 妊婦の喫煙率は、3か月児健診時のアンケート結果では悪化していますが、母子健康手帳交付時は改善しています。健康増進法の一部改正により受動喫煙防止対策が強化されたこともあり、社会全体に喫煙（受動喫煙を含む）が及ぼす健康リスクの認識が広まりつつあります。
- * 妊婦の朝食欠食率に変化はありませんでした。若い世代の朝食欠食は経年的に課題となっていることから、中・高校生からのさらなる食育推進の取り組みが期待されます。また、これまで朝食を摂る習慣がなかった妊婦が、妊娠を期に自身の食習慣を振り返り、適切な食生活へと変化していくことも望まれます。
- * 22時以降に就寝する児の割合は、1歳6か月児では改善し、3歳児、5歳児では変化がみられませんでした。親の就労状況等により就寝時間が遅くなる傾向が見受けられますが、少しでも早い時間に子どもが就寝できるよう工夫したり、意識化していく必要があります。
- * 戸外でよく遊ぶ児の割合は3歳児で悪化し、5歳児では変化がありませんでした。気候変動に伴う猛暑や紫外線が強い時期に外で遊ばせることが難しかったり、ゲーム機等で遊ぶ児の低年齢化の影響などが推測されます。また、親自身がどのように子どもと遊んだらよいかわからないといった声も聞かれます。

○市民を支える取り組み（環境整備）

- * 第1子のすくすく学級（育児学級）の参加率は大幅に悪化しています。離乳食や心の発達、適切な医療受診の仕方、事故予防など、初めて育児をする親にはどれもが知っておくべき大切な内容であるため、今後も参加を促していく必要があります。
- * 子ども料理教室の開催数と参加人数は、目標を達成しています。食生活改善推進員が地域の実情に応じて、学校等とも連携しながら市内全地域で開催しています。自分で作って食べる体験は子どもの“生きる力”を育むため、食への関心を高める貴重な機会として今後も継続して実施していくことが望まれます。

【事業評価】

- * 乳幼児健診や育児学級等の機会を通じて、食生活や運動習慣、生活リズムの大切さについて、甲州プロジェクト（母子保健調査）の一環として作成したリーフレットを用いて保護者へ啓発しました。また、市内保育所等とも連携して取り組みました。

【評価のまとめ】

重点課題①の目標は『生涯に渡り、自ら健康管理ができる力が育まれる』です。中間評価では、食事、運動、睡眠などの生活習慣全般について改善が必要な結果となりました。特に、妊婦の喫煙や幼児の虫歯、子どもの身体活動の改善などに注目し、取り組みを進めていく必要があります。また、市が行っている育児学級（すくすく学級）は参加率が低迷していることから、より参加しやすく魅力的な内容の工夫が課題です。

健康支援の充実は、本計画の根幹とも言うべき課題であるため、各種母子保健事業だけではなく、今後は子育て支援関係者や地域の組織活動等とも連携して取り組む必要があります。

【今後の取り組み】

- * マタニティクラスや妊婦訪問について、より利用しやすい内容や適切な実施時期などの見直しを図り、妊婦自身が主体的に健康管理に取り組むことを支援します。
- * 現在、7か月児健診とすべての幼児健診（1歳6か月児、2歳児、3歳児、5歳児）に歯科衛生士による歯科指導を導入していますが、内容の見直しを図り今後もこれを継続します。また、小さい頃からかかりつけの歯科医師をもち、定期的に受診することをさらに推奨していきます。
- * 睡眠時間が児の発育に及ぼす影響についてさらに周知するとともに、乳幼児健診等の保健指導で具体的にどうしたら就寝時間が早められるか共に考え、まずは取り組んでみることを促します。
- * 児童・生徒の身体発育上の課題については、市の地区担当保健師と各小中学校の養護教諭が学校保健研修会等の機会を通じて情報や意見交換を行います。
- * 保育所（園）・認定こども園や子育て支援センター、児童センター等と連携し、遊び場を紹介したり、子どもと一緒に体を動かす遊びについて周知します。
- * すくすく学級（育児学級）の内容や対象月齢など、保護者のニーズも取り入れながら改良します。
- * 子ども料理教室をはじめとする地域における食育活動を、食生活改善推進員と連携して引き続き行います。
- * 甲州市母子保健縦断調査（甲州プロジェクト）を継続実施し、調査項目の見直しや健康教育用リーフレット等の作成など、必要に応じて取り組みます。

4) 重点課題②_「育てにくさ」を感じる親に寄り添う支援

重点課題② の目標	親や子どもの多様性を尊重し、育てにくさを感じる親を支える
--------------	------------------------------



めざす姿(健康水準)	
目標	・「育てにくさ」を感じる親が、子どもの多様な特性を理解し、安心して子育てをすることができる。
評価指標	★ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合(基盤課題A再掲) ★育てにくさを感じたときに対処できる親の割合



市民の取り組み(健康行動)	
目標	・育てにくさを感じた時に、いつでも相談することができる。 ・親が子どもの発達特性を理解する。 ・子どもたち個々の特性が尊重され、安心して過ごせる居場所がある。 ・地域の人が育てにくさを感じている親や育てにくさを持つ児について理解し、適した関わりをすることができる。
評価指標	★子どもの社会性の発達過程について知っている親の割合 ★子育てについて気軽に相談できる人がいる割合(基盤課題A再掲) ★育児に自信を持つ母親の割合



市民を支える取り組み(環境整備)	
目標	・母親の気持ちに寄り添える乳幼児健康診査の実施。 ・育てにくさを感じた時に専門家に相談できる場の提供。 ・育てにくさを感じる親子へ継続的な支援を行う。 ・関係機関と連携し、育てにくさを感じる親と子の支援を行う。 ・地域の人が、「育てにくさ」をもつ児について理解できるよう支援を行う。
評価指標	★すこやか発達相談の開催数

参考指標
★乳幼児健康診査満足度
★他の子どもと比較して我が子は育てにくいと感じる親の割合
★発達障害早期総合支援ネットワーク会議の開催数
★保育所巡回訪問の巡回数と相談者数

〈目標の達成状況〉

改善①: 目標を達成した
改善②: 目標に達していないが改善した

重点課題② 指標		年齢/区分	ベースライン	現状値	目標値 (5年後)	目標値 (10年後)	中間評価
【健康水準】 目指す姿	ゆったりとした気分で子どもと過ごす時間がある母親の割合 (基盤課題A 再掲)	3・4か月児	86.7%	99.3%	増加	増加	改善②
		1歳6か月児	—	75.2%	※	※	策定後追加調査
		3歳児	—	68.8%	※	※	策定後追加調査
	育てにくさを感じたときに対処できる親の割合	3・4か月児	100.0%	90.9%	維持	維持	悪化
		1歳6か月児	66.7%	91.7%	増加	増加	改善②
		3歳児	76.9%	84.6%	増加	増加	改善②
市民の取り組み 【健康行動】	子どもの社会性の発達過程について知っている親の割合	3・4か月児	87.0%	87.8%	増加	増加	改善②
		1歳6か月児	92.0%	96.3%	増加	増加	改善②
		3歳児	72.5%	80.2%	増加	増加	改善②
	子育てについて気軽に相談できる人がいる割合 (基盤課題A 再掲)	3・4か月児	100.0%	96.9%	100%を維持	100%を維持	悪化
		1歳6か月児	—	96.9%	※	※	策定後追加調査
		3歳児	—	97.1%	※	※	策定後追加調査
	育児に自信を持つ母親の割合	3・4か月児	26.7%	75.4%	増加	増加	改善②
		1歳6か月児	—	56.4%	※	※	策定後追加調査
		3歳児	—	48.7%	※	※	策定後追加調査
市民を支える取り組み 【環境整備】	すこやか発達相談の開催数	合計	10回	言語相談 6回 心理相談 7回 嚙下相談 2回 合計 15回	増加	増加	改善②

【現状と課題】

〇めざす姿（健康水準）

* ゆったりとした気分で子どもと過ごす時間に関する指標は、基盤課題Aの再掲指標です。子どもが大きくなるにつれて、自我の成長や親の就労状況により、徐々にゆったりとした気分で過ごすことは難しくなりがちであるため、子どもの年齢や親の生活状況に合わせた情報発信や、支援のあり方を検討する必要があります。

* 育てにくさを感じた時に対処できる親の割合は3・4か月児では悪化しましたが、1歳6か月児や3歳児では改善しています。市が実施する発達相談や幼児健診時の臨床心理士等による育児専門相談など、タイムリーかつ継続した相談体制の充実に取り組んだ成果が現れていると推測します。また、一番身近な相談場所として、子育て支援センターや児童センター、児が通園（所）する認定こども園、保育所（園）のスタッフによる何気ない声かけや相談対応が、育てにくさを感じる親にとって何よりの機会となっています。

○市民の取り組み（健康行動）

- *子どもの社会性の発達過程について知っている親の割合は、3・4か月児、1歳6か月児、3歳児のいずれも改善しています。親が子どもの社会性の発達過程を理解しておくことで、子どもが見せる反応の変化を好意的に捉え、適切に対応することにつながります。国の「健やか親子21」の中間評価以降、この設問が乳幼児健診の問診項目として全国一斉に追加されたことを受け、本市でも子どもの社会性の発達過程について各種母子保健事業等を通じて周知した効果が表れてきたと推測します。
- *子育てについて気軽に相談できる人がいる割合の指標は、基盤課題Aの再掲指標となっています。子どもの発達に関して悩みを感じた時、インターネットやSNSの情報から、さらに悩みが増幅してしまう場合が散見されるため、身近な専門家に相談するなど、適切な相談行動をとることが重要です。
- *育児に自信を持つ母親の割合は、3・4か月児の母親について大幅に改善しています。妊娠・出産・育児の切れ目ない支援体制を構築する中で、母親の育児に対する自己肯定感が高まるよう、母子保健・子育て支援関係者が共通認識を持ち、声かけやサポートを行った効果が反映されたと推測します。子どもの年齢が上がるにつれて、自信を失う母親が増加することから、子どもの育ちに応じた関わり方について学んだり、時には専門家等へ相談することも必要です。

○市民を支える取り組み（環境整備）

- *すこやか発達相談の開催回数は、改善しています。本市では、子どもの発達面（行動や情緒、言葉）や関わり方に保護者が悩んだ際、専門家（臨床心理士や心理相談員、言語聴覚士）へ気軽に相談できるよう、「すこやか発達相談」を隔月で実施しています。また、歯科医師による嚥下相談も平成27年度から新たに導入し、必要に応じて随時相談を行ってきました。これらを活用することによって、個々の子どもに応じた適切な関わり方について助言を受けることができ、保護者の悩みの軽減に役立っています。

【事業評価】

- *甲州市発達障害早期総合支援事業として、市内保育所（園）・認定こども園等を臨床心理士や保健師が巡回訪問し、子どもの特性に合った関わり方について検討しました。また、年1回研修会を開催し、幼児や児童を支援するスタッフのスキルアップを図りました。
- *発達障害に対する認知度は高まったものの、正しい理解や適切な関わり方については地域に十分浸透しているとは言えません。市民全体へ発達障害や「子どもの育てにくさ」を感じる親への理解や、子どもへの適切な関わり方など、さらに周知が必要です。

【評価のまとめ】

重点課題②の目標は『親や子どもの多様性を尊重し、育てにくさを感じる親を支える』です。本課題については全般的に改善した指標が多く、計画策定から5年間の取り組みに対し、一定の成果が得られたと言えます。

子どもの育ちは千差万別であり、子どもが見せる反応や行動には必ず意味があるため、関わり方に悩んだ時は保護者だけで抱えてしまわず、必ず誰かに相談することを推奨していく必要があります。また、これと併せて相談しやすい体制づくりや相談窓口の明確化など、関係機関等とも連携した取り組みの充実が今後も重要です。

【今後の取り組み】

- *子どもの気になる行動を「親の関わりやしつけによるもの」と簡単に結びつけてしまわず、必要に応じて専門家の助言を受けながら、子どもの多様性を理解し、一人ひとりの子どもに合った子育てができるよう支援していきます。
- *すこやか発達相談を継続実施するとともに、母子保健関係者のみならず子育て支援関係者とも連携して、相談窓口を周知啓発したり、これを必要とする親が躊躇することなく相談につながれるよう支援します。
- *子どもの社会性の発達過程について、親だけでなく祖父母あるいは子どもを取り巻くすべての方の理解が深まるよう情報提供していきます。

5) 重点課題③_妊娠期からの児童虐待予防への取り組み

重点課題③ の目標	親子の愛着を育むことで、子どもの虐待を予防する
--------------	-------------------------



めざす姿(健康水準)	
目標	・親が子どもをかわいいと感じることができ、子どもが安心してのびのび育つことができる。
評価指標	★子どもを育てることが楽しいと思える者の割合 ★子どもを虐待していると思う親の割合 ★感情的に子を怒ったことがある親の割合



市民の取り組み(健康行動)	
目標	・子育てや家族間の悩み・トラブルに対して、適切な相談機関に相談できる。 ・地域の子どもや子育て中の親に関心を持ち、孤立させないために優しく声かけできる。 ・虐待が疑われる事例を発見した場合には、適切な相談機関に相談することができる。 ・乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)について理解できる。
評価指標	★乳児健康診査(3か月、7か月)受診率 ★現在の子育ての状況について満足している者の割合 ★ストレスを感じている者の割合



市民を支える取り組み(環境整備)	
目標	・全ての妊産婦、乳幼児を把握し、対象者を継続的に支援する。 ・親子の愛着形成を育む母乳育児の推進。 ・医療機関を含む母子保健・子育て支援関係者との連携強化。
評価指標	★生後3か月まで母乳を与えている割合 ★2か月児全戸訪問実施率

参考指標

- ★児童虐待による死亡数
- ★虐待件数
- ★現在の暮らしの経済的な状況を総合的にみて、どう感じているか
- ★この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあった割合
- ★要保護児童対策地域協議会の実務者会議の実施数

〈目標の達成状況〉

改善①：目標を達成した
改善②：目標に達していないが改善した

重点課題③ 指標		年齢／区分	ベースライン	現状値	目標値 (5年後)	目標値 (10年後)	中間評価
【健康水準】 目指す姿	子どもを育てることが楽しいと思える者の割合	1歳6か月児	100.0%	98.8%	維持	維持	改善①
		3歳児	97.9%	98.6%	維持	維持	改善①
		5歳児	95.3%	99.1%	維持	維持	改善①
	子どもを虐待していると思う親の割合	3・4か月児	0.0%	—	維持	維持	評価できない
		1歳6か月児	0.0%	—	維持	維持	評価できない
		3歳児	2.5%	—	0%	0%	評価できない
	感情的に子を怒ったことがある親の割合	1歳6か月児	11.2%	5.8%	減少	減少	改善②
		3歳児	19.5%	17.1%	減少	減少	変わらない
		5歳児	23.3%	19.8%	減少	減少	変わらない
【健康行動】 市民の取り組み	乳児健康診査(3か月、7か月)受診率	3か月児	97.8%	96.7%	100%	100%	変わらない
		7か月児	99.4%	95.9%	100%	100%	悪化
	現在の子育ての状況について満足している者の割合	3・4か月児	100.0%	96.4%	維持	維持	悪化
		1歳6か月児	—	94.5%	※	※	策定後追加調査
	ストレスを感じている者の割合	3歳児	—	88.3%	※	※	策定後追加調査
		1歳6か月児	4.8%	12.3%	減少	減少	悪化
3歳児		12.1%	17.1%	減少	減少	変わらない	
【環境整備】 市民を支える取り組み	生後3か月まで母乳を与えている割合	5歳児	12.1%	14.6%	減少	減少	変わらない
		母乳と混合の割合	89.9%	88.8%	増加	増加	変わらない
	2か月児全戸訪問実施率	2か月児	95.7%	94.0%	増加	増加	変わらない

【現状と課題】

○めざす姿（健康水準）

* 子どもを育てることが楽しいと思える者の割合は、目標を達成しました。育児の悩みや困難さがあっても、周囲のサポートなどを得ながら「子育てが楽しい」と考えることは大変重要です。

* 子どもを虐待していると思う親の割合は、調査方法が変更となったことから、今回の中間評価では「評価できない」指標となっています。（策定時のアンケートは無記名方式で実施）

* 感情的に子を怒ったことがある親の割合は、1歳6か月児は改善し、3歳児、5歳児では変化がみられませんでした。時として子どもは親を困らせるような行動をとったり、親の気持ちにゆとりがないなど、感情的に怒ってしまうことは誰もが1度は経験があることかもしれません。自分自身を責めるだけでなく、誰かに相談したり、どう

子どもと向き合ったらよいか共に考えられるよう、あらゆる機会を通じてサポートしていく必要があります。

○市民の取り組み（健康行動）

*乳児健診の受診率は、3か月児では変化がなく、7か月児は悪化しています。里帰り期間の延長や早い時期から職場復帰するなどの影響が考えられます。乳児健診は、子どもの健やかな発育発達を医師や保健師などの専門職と親とが一緒に確認する場であると同時に、子育ての悩みや孤立化を予防するための重要な機会であるため、さらなる受診率向上の取り組みが必要です。

*現在の子育ての状況に満足している者の割合は、悪化しています。満足感が得られにくい状況の背景は様々であると推測されるため、母親が抱える悩みの相談など、引き続き対応が求められます。

*ストレスを感じている者の割合は、1歳6か月児の親で大幅に悪化し、3歳児、5歳児では変化がありませんでした。ストレス要因は様々ですが、上手く解消できない状態が長く持続してしまうと、子育て全般に支障が出たり、子どもの情緒面の発達にも影響を及ぼしかねないため、ストレスの対処法について考えていく必要があります。

○市民を支える取り組み（環境整備）

*生後3か月まで母乳を与えている割合に変化はありませんでした。様々な事情から、母乳を断念せざるを得ないことから、一律的な母乳育児の推進は、かえって産婦を追い詰める結果にもなりかねないため注意が必要ですが、親子ができるだけスキンシップをとることは子どもの愛着形成にもつながります。

*2か月児全戸訪問の実施率に変化はありませんでした。里帰り期間の延長等の影響が考えられます。

【事業評価】

*要保護児童対策地域協議会の実務者会議や特定妊婦検討会を定期的を開催し、ケース状況の把握や支援方針の検討などを行いました。検討ケースや児童虐待の受理件数は年々増加しています。

*乳幼児健診の未受診児フォローのためのフローチャートを作成し、適時適切な支援につながるよう取り組みました。また、必要なケースについては庁内関係各課と連携し、子どもの安否確認などに努めました。

【評価のまとめ】

重点課題③の目標は、『親子の愛着を育むことで、子どもの虐待を予防する』です。本市で乳幼児を子育てしている保護者の多くは、「子育てが楽しい」と感じています。しかし、時には子どもを感情的に怒ってしまったり、ストレスを抱えながらの子育てであることが中間評価の結果でわかりました。また、乳児健診の受診率も100%ではなく、受診勧奨と併せて未受診児のフォローも重要となっています。

平成28年の児童福祉法等の一部改正において、母子保健施策が児童虐待の発生予防や早期発見に資するものであることが母子保健法にも明記されました。本市では、計画の策定以前から、母子保健活動を通じた児童虐待の早期発見・早期支援の必要性を認識し、重点課題に挙げ取り組んできました。

虐待に至る親の背景は、地域社会からの孤立や人的なサポートの希薄さ、経済的な不安、社会生活における未経験や育児知識・技術の不足、親子の愛着が上手く形成されないことなど多岐に渡るため、本計画の基盤課題A、基盤課題B、重点課題①、重点課題②に取り組むことが、ひいては重点課題③の改善にもつながると考えます。

【今後の取り組み】

- *各種母子保健事業を通じて、親が抱える悩みに気づき、早い段階で適切な支援につながるよう取り組みます。
- *乳幼児健診等が未受診となっている児については保護者へ受診勧奨するほか、どうしても受診が困難な場合は、親の了解を得ながら保育所（園）、認定こども園等とも連携して子どもの発育発達を確認し、適切な支援につなげます。
- *2か月児全戸訪問については、一般的な訪問時期を超えた場合であっても、里帰りから自宅へ戻るなど訪問が可能となった段階で対象者と相談し、出来るだけ多くの方が2か月児全戸訪問を利用できるよう取り組みます。
- *母児の愛着形成においてスキンシップをとることは重要な要素であるため、授乳の時間を絶好の機会として捉え、母乳育児の推進のみならず、混合や人工栄養であっても児を抱きながら声をかけ、授乳することの大切さを周知します。

第4章 最終評価に向けた指標と目標

1. 指標の追加・修正

指標		理由	
基盤課題 A			
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	追加	1歳6か月児・3歳児	策定後の追加調査のため
うつ傾向の産婦の割合	削除	母子健康手帳 交付時	中間評価後、データソースを産婦健診(1か月後)調査結果に変更のため
	追加	産婦健康診査 (1か月後)	
子育てについて気軽に相談できる人がいる親の割合	追加	1歳6か月児・3歳児	策定後の追加調査のため
基盤課題 B			
次の子を産みたいと思う母親の割合	追加	3歳児	策定後の追加調査のため
子どもを連れて外出した時に声をかけてくれる地域の人がある割合	追加	1歳6か月児・3歳児	策定後の追加調査のため
重点課題①			
妊娠中の妊婦の喫煙率	追加	3・4か月児	策定後の追加調査のため
重点課題②			
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合 (基盤課題A再掲)	追加	1歳6か月児・3歳児	策定後の追加調査のため
子育てについて気軽に相談できる人がいる割合 (基盤課題A再掲)	追加	1歳6か月児・3歳児	策定後の追加調査のため
育児に自信を持つ母親の割合	追加	1歳6か月児・3歳児	策定後の追加調査のため
重点課題③			
変更前: 子供を虐待していると思う親の割合 変更後: 乳幼児期に体罰や暴言等によらない子育てをしている 親の割合	変更	3・4か月児 1歳6か月児 3歳児	健やか親子21(第2次)の指標に 準じ変更
現在の子育ての状況について満足している者の割合	追加	1歳6か月児・3歳児	策定後の追加調査のため

2. 最終評価目標値の見直しと設定

指標	年齢区分	ベースライン	現状値	中間評価目標	策定時の最終評価目標	中間評価後の最終評価目標	理由
基盤課題 A							
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	1歳6か月児	-	75.2%	※	※	80%	策定後の追加調査のため新たに設定
	3歳児	-	68.8%	※	※	75%	
うつ傾向の産婦の割合	産婦健診(1か月後)	-	6.3%	※	※	6%	中間評価後、データソースを産婦健診(1か月後)調査結果に変更のため新たに設定
妊娠中、健康管理に積極的に取り組んだ母親の割合	3・4か月児	70.0%	62.8%	増加	増加	75%	改善に向け見直し
子育てについて気軽に相談できる人がいる親の割合	1歳6か月児	-	96.9%	※	※	100%	策定後の追加調査のため新たに設定
	3歳児	-	97.1%	※	※	100%	
出産1か月時の母乳育児の割合	3・4か月児	66.7%	58.3%	増加	増加	70%	悪化傾向のため見直し
育児に主体的に関わっている父親の割合	3・4か月児	60.3%	66.2%	増加	増加	70%	ベースラインが参考値だったことからH27追加調査した結果をベースライン値とした。そのため目標値を新たに設定
	1歳6か月児	56.6%	63.0%	増加	増加	70%	
	3歳児	51.2%	64.0%	増加	増加	70%	
マタニティクラスの初産婦の参加率	参加率	50.0%	26.8%	増加	増加	60%	悪化傾向のため見直し
妊産婦訪問率	訪問率	93.7%	74.1%	増加	増加	95%	悪化傾向のため見直し
新生児・産婦訪問率	訪問率	91.7%	88.1%	増加	増加	95%	改善に向け見直し
基盤課題 B							
甲州市で子育てをしたいと思う親の割合(3.4か月・1歳6か月・3歳児)	3時点平均	94.2%	95.0%	増加	増加	95%	改善に向け見直し
次の子を産みたいと思う母親の割合	3歳児	-	33.2%	※	※	増加	策定後の追加調査のため新たに設定
子どもを連れて外出した時に声をかけてくれる地域の人がある割合	3・4か月児	93.3%	91.7%	増加	増加	95%	策定後の追加調査のため新たに設定
	1歳6か月児	-	93.3%	※	※	95%	
	3歳児	-	83.7%	※	※	90%	
つどいの広場に参加する母親の割合	参加率	28.7%	44.4%	増加	増加	50%	改善に向け見直し
重点課題①							
虫歯のない3歳児の割合	3歳児	85.8%	77.9%	増加	増加	90%	悪化傾向のため見直し
妊娠中の妊婦の喫煙率	3・4か月児	0.0%	2.0%	※	※	0%の維持	策定後の追加調査のため新たに設定
子どもの就寝時間が22時以降の児の割合	1歳6か月児	17.8%	11.0%	減少	減少	10%	改善に向け見直し
	3歳児	27.0%	28.2%	減少	減少	25%	
	5歳児	29.2%	30.5%	減少	減少	25%	
戸外でよく遊ぶ児の割合	5歳児	90.6%	87.7%	増加	増加	95%	改善に向け見直し
第1子のすくすく学級への参加率	参加率	68.3%	49.8%	増加	増加	70%	悪化傾向のため見直し

指標	年齢区分	ベースライン	現状値	中間評価目標	策定時の最終評価目標	中間評価後の最終評価目標	理由
重点課題②							
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合 (基盤課題A再掲)	3・4か月児	86.7%	99.3%	増加	増加	90%	改善に向け見直し 策定後の追加調査のため新たに設定
	1歳6か月児	-	75.2%	※	※	80%	
	3歳児	-	68.8%	※	※	75%	
子どもの社会性の発達過程について知っている親の割合	3・4か月児	87.0%	87.8%	増加	増加	90%	改善に向け見直し
	1歳6か月児	92.0%	96.3%	増加	増加	95%	
	3歳児	72.5%	80.2%	増加	増加	90%	
子育てについて気軽に相談できる人がいる割合(基盤課題A再掲)	1歳6か月児	-	96.9%	※	※	100%	策定後の追加調査のため新たに設定
	3歳児	-	97.1%	※	※	100%	
育児に自信を持つ母親の割合	3・4か月児	26.7%	75.4%	増加	増加	80%	改善に向け見直し 策定後の追加調査のため新たに設定
	1歳6か月児	-	56.4%	※	※	60%	
	3歳児	-	48.7%	※	※	50%	
重点課題③							
乳幼児期に体罰や暴言等によらない子育てをしている親の割合	3・4か月児	-	89.8%	※	※	95%	ベースラインと調査方法が異なるため再設定
	1歳6か月児	-	77.7%	※	※	85%	
	3歳児	-	63.9%	※	※	70%	
感情的に子を怒ったことがある親の割合	1歳6か月児	11.2%	5.8%	減少	減少	5%	改善に向け見直し
	3歳児	19.5%	17.1%	減少	減少	15%	
	5歳児	23.3%	19.8%	減少	減少	15%	
現在の子育ての状況について満足している者の割合	1歳6か月児	-	94.5%	※	※	95%	策定後の追加調査のため新たに設定
	3歳児	-	88.3%	※	※	95%	
ストレスを感じている者の割合	1歳6か月児	4.8%	12.3%	減少	減少	維持	悪化傾向のため見直し
	3歳児	12.1%	17.1%	減少	減少	10%	
	5歳児	12.1%	14.6%	減少	減少	10%	
生後3か月まで母乳を与えている割合	母乳と混合の割合	89.9%	88.8%	増加	増加	90%	改善に向け見直し
2か月児全戸訪問実施率	2か月児	95.7%	94.0%	増加	増加	100%	改善に向け見直し

3. 指標と最終評価目標一覧（中間評価改訂版）

改善①: 目標を達成した

改善②: 目標に達していないが改善した

基盤課題A 指標		年齢/区分	ベースライン	現状値	目標値 (5年後)	目標値 (10年後)	中間評価	中間評価後の 最終評価目標
めざす姿 (健康水準)	妊娠・出産について満足している者の割合	3・4か月児	100.0%	94.5%	100%の維持	100%の維持	悪化	100%の維持
	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3・4か月児	86.7%	99.3%	増加	増加	改善②	増加
		1歳6か月児	—	75.2%	※	※	策定後追加調査	80.0%
		3歳児	—	68.8%	※	※	策定後追加調査	75.0%
	うつ傾向の産婦の割合	母子手帳交付時	46.5%	43.2%	※	※	評価できない	対象区分変更
産婦健診(1か月後)		—	6.3%	※	※	策定後追加調査	6%	
市民の取り組み (健康行動)	妊娠中、健康管理に積極的に取り組んだ母親の割合	3・4か月児	70.0%	62.8%	増加	増加	変わらない	75%
	子育てについて気軽に相談できる人がいる親の割合	3・4か月児	100.0%	96.9%	100%の維持	100%の維持	悪化	100%の維持
		1歳6か月児	—	96.9%	※	※	策定後追加調査	100.0%
		3歳児	—	97.1%	※	※	策定後追加調査	100.0%
	出産1か月時の母乳育児の割合	3・4か月児	66.7%	58.3%	増加	増加	悪化	70%
	育児に主体的に関わっている父親の割合	3・4か月児	60.3%	66.2%	増加	増加	改善②	70%
1歳6か月児		56.6%	63.0%	増加	増加	変わらない	70%	
3歳児	51.2%	64.0%	増加	増加	改善②	70%		
市民の取り組み (環境整備)	マタニティクラスの初産婦の参加率	参加率	50.0%	26.8%	増加	増加	悪化	60.0%
	乳幼児健康診査 未受診児フォロー率	未受診率	2.4%	3.0%	減少	減少	変わらない	減少
		未受診児フォロー率	96.7%	100.0%	100.0%	100.0%	改善①	100%の維持
	妊婦訪問率	訪問率	93.7%	74.1%	増加	増加	悪化	95.0%
	新生児・産婦訪問率	訪問率	91.7%	88.1%	増加	増加	変わらない	95.0%
産前・産後ママのほっとスペース利用者数	利用者数	年間396人 (推定)	715人	維持	維持	改善①	維持	
基盤課題B 指標		年齢/区分	ベースライン	現状値	目標値 (5年後)	目標値 (10年後)	中間評価	中間評価後の 最終評価目標
めざす姿 (健康水準)	甲州市で子育てをしたいと思う親の割合	3時点平均	94.2%	95.0%	増加	増加	変わらない	95%
	妊娠中、仕事を続けられることに対して職場から配慮をされたと思う就労妊婦の割合	3・4か月児	100.0%	89.7%	100%の維持	100%の維持	悪化	100%の維持
		3・4か月児	63.4%	52.7%	増加	増加	悪化	増加
			3歳児	—	33.2%	※	※	策定後追加調査
市民の取り組み (健康行動)	子どもを連れて外出した時に声をかけてくれる地域の人がいる割合	3・4か月児	93.3%	91.7%	増加	増加	変わらない	95%
		1歳6か月児	—	93.3%	※	※	策定後追加調査	95%
		3歳児	—	83.7%	※	※	策定後追加調査	90%
	つどいの広場に参加する母親の割合	参加率	28.7%	44.4%	増加	増加	改善②	50%
市民の取り組み (環境整備)	つどいの広場後の自主グループ化率	グループ化率	100.0%	100.0%	100%の維持	100%の維持	改善①	100%の維持

改善①：目標を達成した
改善②：目標に達していないが改善した

重点課題① 指標		年齢／区分	ベースライン	現状値	目標値（5年後）	目標値（10年後）	中間評価	中間評価後の最終評価目標	
めざす姿（健康水準）	全出生数中の低出生体重児の割合	低出生体重児	11.4%	7.9%	減少	減少	変わらない	減少	
	虫歯のない3歳児の割合	3歳児	85.8%	77.9%	増加	増加	悪化	90%	
	児童・生徒における痩身傾向児の割合	小学生	男子	8.5%	7.0%	維持・減少	維持・減少	変わらない	維持・減少
			女子	13.6%	14.5%			変わらない	
		中学生	男子	7.0%	7.5%	維持・減少	維持・減少	変わらない	維持・減少
			女子	7.8%	7.9%			変わらない	
	児童・生徒における肥満傾向児の割合	小学生	男子	18.0%	19.2%	減少	減少	変わらない	減少
女子			10.2%	8.7%	変わらない				
中学生		男子	12.6%	14.1%	減少	減少	変わらない	減少	
		女子	10.9%	10.9%			変わらない		
市民の取り組み（健康行動）	妊娠中の妊婦の喫煙率	3・4か月児	0%	2.0%	※	※	評価できない	0%の維持	
		母子手帳交付時	4.6%	1.9%	減少	減少	改善②	減少	
	妊婦で朝食を全く食べない者の割合	妊婦	10.1%	9.0%	減少	減少	変わらない	減少	
	子どもの就寝時間が22時以降の児の割合	1歳6か月児	17.8%	11.0%	減少	減少	改善②	10%	
		3歳児	27.0%	28.2%	減少	減少	変わらない	25%	
5歳児		29.2%	30.5%	減少	減少	変わらない	25%		
戸外でよく遊ぶ児の割合	3歳児	100.0%	99.0%	100%の維持	100%の維持	悪化	100%の維持		
	5歳児	90.6%	87.7%	増加	増加	変わらない	95%		
市（環境整備）の取り組み	第1子のすくすく学級への参加率	参加率	68.3%	49.8%	増加	増加	悪化	70%	
	子ども料理教室の開催数、参加人数	回数	22回	22回	維持	維持	改善①	維持	
		参加延数	787人	772人	維持	維持	改善①	維持	
重点課題② 指標		年齢／区分	ベースライン	現状値	目標値（5年後）	目標値（10年後）	中間評価	中間評価後の最終評価目標	
めざす姿（健康水準）	ゆったりとした気分で子どもと過ごす時間がある母親の割合（基盤課題A再掲）	3・4か月児	86.7%	99.3%	増加	増加	改善②	増加	
		1歳6か月児	—	75.2%	※	※	策定後追加調査	80%	
		3歳児	—	68.8%	※	※	策定後追加調査	75%	
	育てにくさを感じたときに対処できる親の割合	3・4か月児	100.0%	90.9%	維持	維持	悪化	100%の維持	
		1歳6か月児	66.7%	91.7%	増加	増加	改善②	増加	
3歳児	76.9%	84.6%	増加	増加	改善②	増加			
市民の取り組み（健康行動）	子どもの社会性の発達過程について知っている親の割合	3・4か月児	87.0%	87.8%	増加	増加	改善②	90%	
		1歳6か月児	92.0%	96.3%	増加	増加	改善②	95%	
		3歳児	72.5%	80.2%	増加	増加	改善②	90%	
	子育てについて気軽に相談できる人がいる割合（基盤課題A再掲）	3・4か月児	100.0%	96.9%	100%を維持	100%を維持	悪化	100%の維持	
		1歳6か月児	—	96.9%	※	※	策定後追加調査	100.0%	
		3歳児	—	97.1%	※	※	策定後追加調査	100.0%	
育児に自信を持つ母親の割合	3・4か月児	26.7%	75.4%	増加	増加	改善②	80%		
	1歳6か月児	—	56.4%	※	※	策定後追加調査	60%		
3歳児	—	48.7%	※	※	策定後追加調査	50%			
市（環境整備）の取り組み	すこやか発達相談の開催数	合計	10回	言語相談 6回 心理相談 7回 嚙下相談 2回 合計15回	増加	増加	改善②	増加	

改善①: 目標を達成した

改善②: 目標に達していないが改善した

重点課題③ 指標		年齢/区分	ベースライン	現状値	目標値 (5年後)	目標値 (10年後)	中間評価	中間評価後の 最終評価目標
めざす姿 (健康水準)	子どもを育てることが楽しいと思える者の割合	1歳6か月児	100.0%	98.8%	維持	維持	改善①	維持
		3歳児	97.9%	98.6%	維持	維持	改善①	維持
		5歳児	95.3%	99.1%	維持	維持	改善①	維持
	乳幼児期に体罰や暴言等によらない子育てをしている親の割合	3・4か月児	—	89.8%	※	※	評価できない	95%
		1歳6か月児	—	77.7%	※	※	評価できない	85%
		3歳児	—	63.9%	※	※	評価できない	70%
	感情的に子を怒ったことがある親の割合	1歳6か月児	11.2%	5.8%	減少	減少	改善②	5.0%
		3歳児	19.5%	17.1%	減少	減少	変わらない	15.0%
		5歳児	23.3%	19.8%	減少	減少	変わらない	15.0%
市民の 取り組み (健康行動)	乳児健康診査(3か月、7か月)受診率	3か月児	97.8%	96.7%	100%	100%	変わらない	100%
		7か月児	99.4%	95.9%	100%	100%	悪化	100%
	現在の子育ての状況について満足している者の割合	3・4か月児	100.0%	96.4%	維持	維持	悪化	100%の維持
		1歳6か月児	—	94.5%	※	※	策定後追加調査	95.0%
		3歳児	—	88.3%	※	※	策定後追加調査	95.0%
	ストレスを感じている者の割合	1歳6か月児	4.8%	12.3%	減少	減少	悪化	維持
3歳児		12.1%	17.1%	減少	減少	変わらない	10.0%	
5歳児	12.1%	14.6%	減少	減少	変わらない	10.0%		
市民を 支える (環境整備)	生後3か月まで母乳を与えている割合	母乳と混合の割合	89.9%	88.8%	増加	増加	変わらない	90.0%
	2か月児全戸訪問実施率	2か月児	95.7%	94.0%	増加	増加	変わらない	100.0%

4. 評価指標一覧

指標名	ベースライン		中間評価		ベースラインのデータソース	中間評価のデータソース	
	調査項目及びデータ	標本数	調査項目及びデータ	標本数			
健康水準の指標	★妊娠・出産について満足している者の割合	妊娠・出産に関して、以下の項目はあなた(お母さん)にとって満足でしたか →下位項目:産後、退院してからの1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けることができましたか→はい 3・4か月児 100%(参考)	3・4か月児 n=30	妊娠・出産に関して、以下の項目はあなた(お母さん)にとって満足でしたか →下位項目:産後、退院してからの1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けることができましたか→はい 3・4か月児 94.5%	3・4か月児 n=145	平成25年度健やか親子21最終評価(3・4か月児)	平成30年度乳幼児健康診査問診項目(3・4か月児)
	★ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか→はい 3・4か月児 86.7%(参考) 1歳6か月児 - 3歳児 -	3・4か月児 n=30	お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか→はい 3・4か月児 99.3% 1歳6か月児 75.2% 3歳児 68.8%	3・4か月児 n=146 1歳6か月児 n=165 3歳児 n=208	平成25年度健やか親子21最終評価(3・4か月児)	平成30年度乳幼児健康診査問診項目(3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)
	★うつ傾向の産婦の割合	あなたはこの1か月間、気分が沈んだり憂鬱な気持ちになったりすることがありましたか→はい 母子手帳交付時 46.5% 産婦検診(1か月後) -	n=217	エジンバラ産後うつ病自己評価票(EPDS) 9点以上 母子手帳交付時 43.2% 産婦検診(1か月後) 6.3%	産婦健診(1か月) n=127	平成25年度甲州市母子保健継続調査(母子手帳交付時)	平成30年度産婦健康診査(1か月)のエジンバラ産後うつ病自己評価票(EPDS)
	(参考指標)						
	妊産婦死亡率	死亡台帳 平成25年度 0人	—	死亡台帳 平成30年度 0人	—	平成25年度甲州市健康増進課調べ(死亡台帳)	平成30年度甲州市健康増進課調べ(死亡台帳)
乳幼児死亡率	死亡台帳 平成25年度 0人	—	死亡台帳 平成30年度 0人	—	平成25年度甲州市健康増進課調べ(死亡台帳)	平成30年度甲州市健康増進課調べ(死亡台帳)	
周産期死亡率	死亡台帳 平成25年度 0人	—	死亡台帳 平成30年度 0人	—	平成25年度甲州市健康増進課調べ(死亡台帳)	平成30年度甲州市健康増進課調べ(死亡台帳)	
基盤課題A	★妊娠中、健康管理に積極的に取り組んだ母親の割合	妊娠中、健康管理に自分から積極的に取り組むようになったか→はい 3・4か月児 70.0%(参考)	3・4か月児 n=30	妊娠中、健康管理に自分から積極的に取り組むようになったか→はい 3・4か月児62.8%	3・4か月児 n=129	平成25年度健やか親子21最終評価(3・4か月児)	平成30年度乳幼児健康診査問診項目(3・4か月児)
	★子育てについて気軽に相談できる人がいる親の割合	子育てについて気軽に相談できる人はいますか→はい 3・4か月児 100%(参考) 1歳6か月児 - 3歳児 -	3・4か月児 n=30 1歳6か月児 - 3歳児 -	子育てについて気軽に相談できる人はいますか→はい 3・4か月児 96.9% 1歳6か月児 96.9% 3歳児 97.1%	3・4か月児 n=127 1歳6か月児 n=163 3歳児 n=207	平成25年度健やか親子21最終評価(3・4か月児)	平成30年度乳幼児健康診査問診項目(3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)
	★出産1か月時の母乳育児の割合	生後1か月時の栄養法はどうでしたか→母乳のみ 3・4か月児 66.7%(参考)	3・4か月児 n=30	生後1か月時の栄養法はどうでしたか→母乳のみ 3・4か月児 58.3%	3・4か月児 n=144	平成25年度健やか親子21最終評価(3・4か月児)	平成30年度乳幼児健康診査問診項目(3・4か月児)
	★育児に主体的に関わっている父親の割合	お子さんのお父さんが、自分から進んで育児に関わっていると感じますか→はい 3・4か月児 78.3%(参考) 1歳6か月児 56.0%(参考) 3歳児 67.5%(参考) ベースライン値をH27実績に修正↓ お子さんのお父さんは、育児をしていますか→よくやっている 3・4か月児 60.3% 1歳6か月児 56.6% 3歳児 51.2%	3・4か月児 n=23 1歳6か月児 n=25 3歳児 n=40 ↓ H27実績に修正 3・4か月児 n=78 1歳6か月児 n=76 3歳児 n=84	お子さんのお父さんは、育児をしていますか→よくやっている 3・4か月児 66.2% 1歳6か月児 63.0% 3歳児 64.0%	3・4か月児 n=139 1歳6か月児 n=154 3歳児 n=186	平成26年度健やか親子21追加調査	平成30年度乳幼児健康診査問診項目(3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)
	(参考指標)						
健康行動の指標	小児救急電話相談(#8000)を知っている割合	小児救急電話相談(#8000)を知っていますか→はい 3・4か月児 65.2%(参考) 1歳6か月児 88.0%(参考) 3歳児 80.0%(参考) 平均 77.7%(参考)	3・4か月児 n=23 1歳6か月児 n=25 3歳児 n=40	小児救急電話相談(#8000)を知っていますか→はい 3・4か月児 86.4%	3・4か月児 n=147	平成26年度健やか親子21追加調査(3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)	平成30年度乳幼児健康診査問診項目(3・4か月児)
	1歳6か月までの四種混合・麻しん・風しんの予防接種率	DPT・ポリオ・麻しん・風しん DPT41人 (21.6%) ポリオ49人 (25.8%) 麻しん175人 (92.1%) 風しん175人 (92.1%)	1歳6か月児 n=190	四種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ)の予防接種(第1期3回)を済ませましたか→はい 1歳6か月児 98.1% 麻しん・風しんの予防接種を済ませましたか→はい 1歳6か月児 92.4%	[四種混合] 1歳6か月児 n=159 [麻しん・風しん] 1歳6か月児 n=158	平成25年度母子保健事業報告	平成30年度乳幼児健康診査問診項目(1歳6か月児)
	子どものかかりつけ医をもつ親の割合(医師、歯科医)	お子さんのかかりつけ医はいますか→はい 3・4か月児 87.0%(参考) 1歳6か月児 88%(参考) 3歳児 97.5%(参考) (お子さんのかかりつけの歯科医師はいますか→はい)3歳児 55%(参考)	3・4か月児 n=23 1歳6か月児 n=25 3歳児 n=40	お子さんのかかりつけ医はいますか→はい 3・4か月児 78.2% 3歳児 92.4% お子さんのかかりつけの歯科医師はいますか→はい 3歳児 78.2%	[医師] 3・4か月児 n=147 1歳6か月児 n=166 3歳児 n=172 [歯科医] 3歳児 n=173	平成26年度健やか親子21追加調査(3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)	平成30年度乳幼児健康診査問診項目(3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)
	妊娠・出産に関して夫の理解や対応に満足できた母親の割合	妊娠・出産に関して、夫の理解や対応に満足できましたか→はい 3・4か月児 66.7%(参考)	3・4か月児 n=30	調査未実施	—	平成25年度健やか親子21最終評価(3・4か月児)	—
	妊婦健康診査の受診率	平成25年度に出生した者(転入者は除く)192人のうち妊婦検診を12回以上受診したものの 161人 161/192=84.4%	n=192	平成30年度に出生した者(転入者は除く)で妊婦検診を12回以上受診したものの 118人 118/136=86.8%	n=136	平成25年度甲州市健康増進課調べ	平成30年度甲州市健康増進課調べ
	11週以下での妊娠届出者の割合	妊娠届の届出週数が11週以下(母子手帳交付の届出週数が11週以下)85.0%	n=219	妊娠届の届出週数が11週以下 93.5%	n=154	平成25年度母子保健継続調査	平成30年度甲州市健康増進課調べ

指標名	ベースライン		中間評価		ベースラインのデータソース	中間評価のデータソース
	調査項目及びデータ	標本数	調査項目及びデータ	標本数		
★マタニティクラスの初産婦の参加率	実施回数 16回/年 延参加回数 146人/回(4課4クール) 初産婦の延参加回数/初産婦の全参加予定回数×100 参加率 50%	n=292 (初産婦の全参加回数)	実施回数/年 延参加回数 参加率(初産婦の延参加回数/初産婦の全参加予定回数×100) 参加率26.8%	n=224 (初産婦の全参加回数)	平成25年度甲州市健康増進課調べ	平成30年度甲州市健康増進課調べ
★乳幼児健康診査未受診児フォロー率	乳幼児健康診査未受診率:対象となる乳幼児健康診査を受診しなかった児の割合(未受診児数/対象児数×100) 2.4% 未受診児フォロー率:未受診児のうち、何らかのかたちで対応がなされた児童の割合(対応がなされた児童数/未受診児童数×100) 96.7%	n=1245 (平成25年度3か月児、7か月児、1歳6か月児、2歳児、3歳児、5歳児健康診査対象者)	乳幼児健康診査未受診率:対象となる乳幼児健康診査を受診しなかった児の割合(未受診児数/対象児数×100)3.0% 未受診児フォロー率:未受診児のうち、何らかのかたちで対応がなされた児童の割合(対応がなされた児童数/未受診児童数×100)100%	n=1086 (平成30年度3か月児、7か月児、1歳6か月児、2歳児、3歳児、5歳児健康診査対象者)	平成25年度甲州市健康増進課調べ	平成30年度甲州市健康増進課調べ
★妊婦訪問率	平成25年度に出生した者、転入者は除く 192人のうち妊娠中に1回でも妊婦訪問を受けたことがある者 180人 180/192 ⇒93.7%	n=192	(平成30年度に出生した者、転入者は除く)対象者のうち妊娠中に1回でも妊婦訪問を受けたことがある者 74.1%	n=143	平成25年度甲州市健康増進課調べ	平成30年度甲州市健康増進課調べ
★新生児・産婦訪問率	平成25年度に出生した児、転入は除く(1ヶ月以内の転出者は含む) 192人のうち1回でも新生児訪問または産婦訪問を受けた者 176人 176/192 ⇒91.7%	n=192	(平成30年度に出生した児、転入は除く)1ヶ月以内の転出者は含む)1回でも新生児訪問または産婦訪問を受けた者 88.1%	n=143	平成25年度甲州市健康増進課調べ	平成30年度甲州市健康増進課調べ
★産前・産後ママのほっとスペース利用者数	平成26年10月～12月(3か月間) 延利用者数99人 99÷3×12=396人(12か月) 利用者数:396人(推定)	—	平成30年4月～平成31年3月(12か月間) 利用者数:715人	715人	平成26年度甲州市健康増進課調べ	平成30年度甲州市健康増進課調べ
(参考指標)						
2か月児訪問率	平成25年度に対象となった児 187名 (毎月抽出した対象者数を合算) 実施児数 179名 実施児数/対象となった児×100 179/187 ⇒95.7%	n=187	平成30年度に対象となった児 (毎月抽出した対象者数を合算) 実施児数/対象となった児×100 140/149=94.0%	n=149	平成25年度甲州市健康増進課調べ	平成30年度甲州市健康増進課調べ
思春期事業(赤ちゃんふれあい体験)の実施状況	実施校 3校 参加者 138人	—	実施校 3校 参加者 147人	—	平成25年度保健概況報告書	平成30年度甲州市健康増進課調べ
関係機関とのネットワーク会議の開催状況	ママのあんしんネットワーク会議 年2回実施 子育て支援事業者及び地域関係者9団体 母子保健関係者及び専門機関関係者7団体 庁内関係3課6担当	—	ママのあんしんネットワーク会議 年3回実施(うち1回はワーキング) 当事者3名、子育て支援事業者及び地域関係者8団体、母子保健関係者及び専門機関関係者5団体、庁内関係3課4担当	—	平成26年度甲州市健康増進課調べ	平成30年度甲州市健康増進課調べ
妊娠届出時の個別健康相談の実施率	妊娠届出時の個別相談の実施率 1年間に母子健康手帳交付と併せて保健師による健康相談を実施した妊婦の割合 100% (220人/220人)	n=220	妊娠届出時の個別相談の実施率 1年間に母子健康手帳交付と併せて保健師による健康相談を実施した妊婦の割合 100% (154人/154人)	n=154	平成25年度甲州市健康増進課調べ	平成30年度甲州市健康増進課調べ

基盤課題A

環境整備の指標

指標名	ベースライン		中間評価		ベースラインのデータソース	中間評価のデータソース	
	調査項目及びデータ	標本数	調査項目及びデータ	標本数			
健康水準	★甲州市で子育てをしたいと思う親の割合	この地域で、今後も子育てをしていきたいですか→そう思う、どちらかといえはそう思う 3・4か月児 95.5%(参考) 1歳6か月児 92.0%(参考) 3歳児 92.0%(参考) 3時点平均 94.2%(参考)	3・4か月児 n=23 1歳6か月児 n=25 3歳児 n=40	この地域で、今後も子育てをしていきたいですか→そう思う、どちらかといえはそう思う 3・4か月児 - 1歳6か月児 - 3歳児 - 3時点平均 95.0%	3・4か月児 n=147 1歳6か月児 n=165 3歳児 n=206	平成25年度健やか親子21追加調査(3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)	平成30年度乳幼児健康診査問診項目(3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)
	★妊娠中、仕事を続けられることに対して職場から配慮をされたと思う就労妊婦の割合	お子さんのお母さんは妊娠中、働いていましたか→働いていたことがある→妊娠中、仕事を続けることに関して職場から配慮されたと思いますか→はい 3・4か月児 100%(参考)	3・4か月児 n=23	お子さんのお母さんは妊娠中、働いていましたか→働いていたことがある→妊娠中、仕事を続けることに関して職場から配慮されたと思いますか→はい 3・4か月児 89.7%	3・4か月児 n=107	平成26年度健やか親子21最終評価(3・4か月児)	平成30年度乳幼児健康診査問診項目(3・4か月児)
	★次の子を産みたいと思う母親の割合	次のお子さんを産みたいと思いますか→はい、どちらかといえははい 3・4か月児 63.4%(参考)	3・4か月児 n=30	次のお子さんを産みたいと思いますか→はい、どちらかといえははい 3・4か月児 52.7% 3歳児 33.2%	3・4か月児 n=131 1歳6か月児 - 3歳児 n=208	平成25年度健やか親子21最終評価(3・4か月児)	平成30年度乳幼児健康診査問診項目(3・4か月児、3歳児)
	(参考指標)						
合計特殊出生率	平成25年次合計特殊出生率 1.20	—	平成30年次合計特殊出生率 1.15	—	平成25年度甲州市健康増進課調べ	平成30年次甲州市健康増進課調べ	
基盤課題B 健康行動の指標	★子どもを連れて外出した時に声をかけてくれる地域の人はいいますか→はい 3・4か月児 93.3%(参考) 1歳6か月児 - 3歳児 -	3・4か月児 n=30 1歳6か月児 - 3歳児 -	お子さんと一緒に外出したとき、道で声をかけてくれる地域の人はいいますか→はい 3・4か月児 91.7% 1歳6か月児 93.3% 3歳児 83.7%	3・4か月児 n=132 1歳6か月児 n=165 3歳児 n=208	平成25年度健やか親子21最終評価(3・4か月児)	平成30年度乳幼児健康診査問診項目(3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)	
	★つどいの広場に参加する母親の割合	前クールの参加率の平均を算出(クールごとに、1回以上参加した者の数/対象となっている者の数×100) 28.7%	n=216	全クールの参加率の平均を算出(クールごとに、1回以上参加した者の数/対象となっている者の数×100) 44.4%	n=169	平成25年度甲州市健康増進課調べ	平成30年度甲州市健康増進課調べ
	(参考資料)						
マタニティマークを妊娠中に使用したことのがある母親の割合	妊娠中、マタニティマークを知っていましたか→知っていた→マタニティマークを身に付けるなどして利用したことがありますか→利用したことがある 3・4か月児 48.3%(参考)	3・4か月児 n=30	妊娠中、マタニティマークを知っていましたか→知っていた→マタニティマークを身につけたりするなどして利用したことがありますか→利用したことがある 3・4か月児 53.6%(75/140)	3・4か月児 n=140	平成25年度健やか親子21最終評価(3・4か月児)	平成30年度乳幼児健康診査問診項目(3・4か月児)	
環境整備の指標	★つどいの広場後の自主グループ化率	自主グループ化したグループ数/つどいの広場のグループ数×100 自主グループ化率 100%	グループ数 n=4	自主グループ化したグループ数/つどいの広場のグループ数×100 自主グループ化率 100%	グループ数 n=6	平成25年度甲州市健康増進課調べ	平成30年度甲州市健康増進課調べ
	(参考指標)						
ママのあんしんネットワーク会議の開催数	平成26年 開催数2回	—	平成30年度 開催数3回(うち、1回はワーキング)	—	平成26年度甲州市健康増進課調べ	平成30年度甲州市健康増進課調べ	

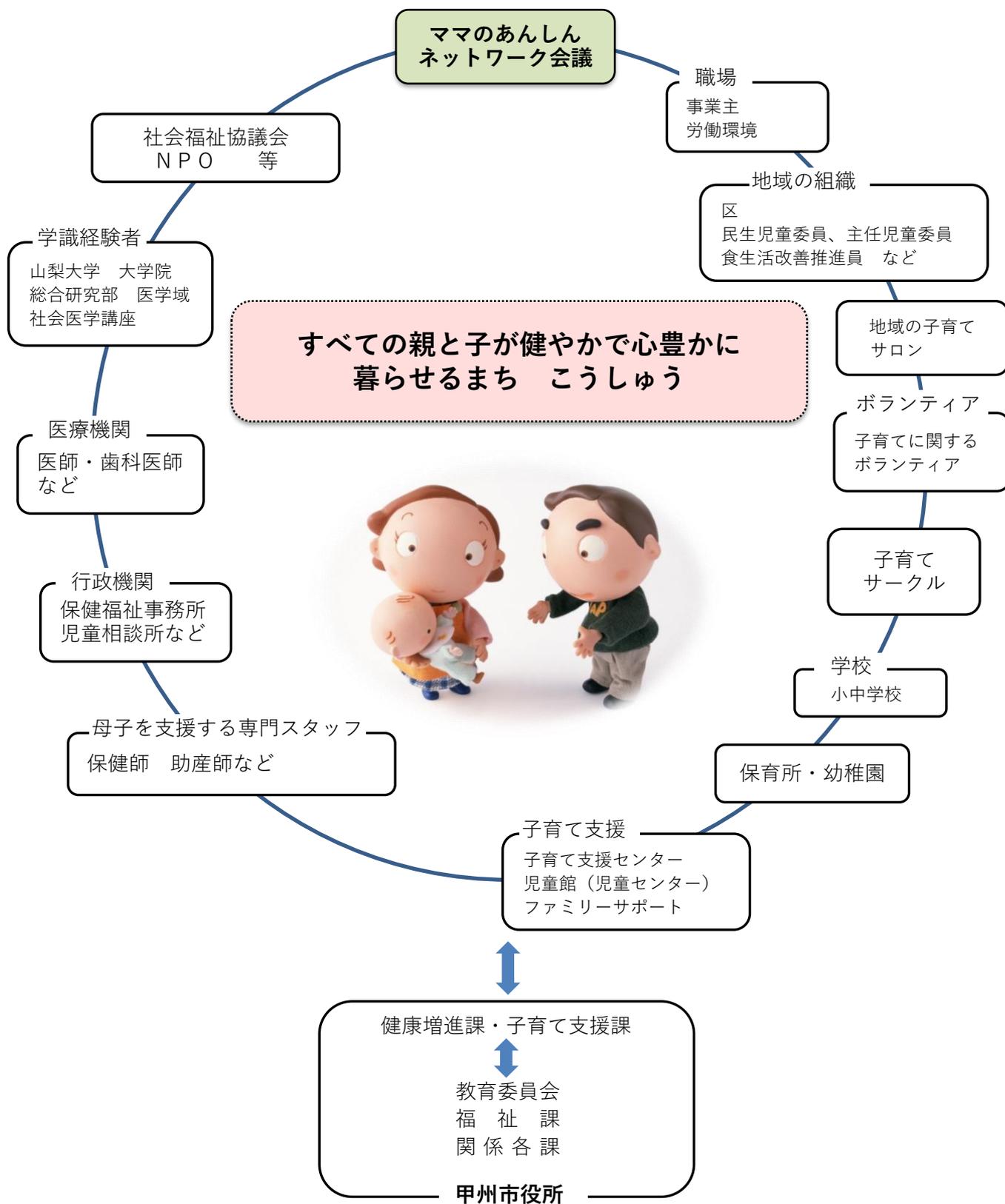
指標名	ベースライン		中間評価		ベースラインのデータソース	中間評価のデータソース	
	調査項目及びデータ	標本数	調査項目及びデータ	標本数			
健康水準	★全出生数中の低出生体重児の割合	全出生数中の低出生体重児(2,500g未満)の割合=低出生体重児出生数/出生数×100 11.4%	出生数 n=192	全出生数中の低出生体重児(2,500g未満)の割合=低出生体重児出生数/出生数×100 7.9%	出生数 n=163	平成25年度甲州市母子保健縦断調査	平成29年度甲州市母子保健縦断調査
	★虫歯のない3歳児の割合	むし歯のない3歳児の割合=むし歯のない児数/3歳児健康診査受診児数×100 3歳児 85.8%	3歳児 n=190	むし歯のない3歳児の割合=むし歯のない児数/3歳児健康診査受診児数×100 3歳児 77.9%	3歳児 n=208	平成25年度甲州市健康増進課調べ	平成30年度甲州市健康増進課調べ
	★児童・生徒における痩身・肥満傾向児の割合	やせ% 肥満% 小学生男子 8.5 18.0 小学生女子 13.6 10.2 中学生男子 7.0 12.6 中学生女子 7.8 10.9 ※BMIで算出	小学生男子 n=503 小学生女子 n=500 中学生男子 n=511 中学生女子 n=474	やせ% 肥満% 小学生男子 7.0 19.2 小学生女子 14.5 8.7 中学生男子 7.5 14.1 中学生女子 7.9 10.9 ※BMIで算出	小学生男子 n=412 小学生女子 n=345 中学生男子 n=440 中学生女子 n=404	平成25年度甲州市児童生徒の心の健康と生活習慣に関する調査報告書	平成30年度甲州市児童生徒の心の健康と生活習慣に関する調査
重点課題①	★妊娠中の妊婦の喫煙率	3・4か月児:妊娠中のあなた(お母さん)の喫煙はどうか→あり0%(参考) 母子手帳交付時:あなたはタバコを吸いますか→はい 4.6%	3・4か月児 n=30 母子手帳交付時 n=217	3・4か月児:妊娠中、お母さんは喫煙をしていましたか→あり2.0% 母子手帳交付時:あなたはタバコを吸いますか→はい 1.9%	3・4か月児 n=147 母子手帳交付時 n=156	平成25年度健やか親子21最終評価(3・4か月児) 平成25年度甲州市母子保健縦断調査(母子手帳交付時)	平成30年度乳幼児健康診査問診項目(3・4か月児) 平成29年度甲州市母子保健縦断調査(母子手帳交付時)
	★妊婦で朝食を全く食べない者の割合	母子手帳交付時:朝食を食べていましたか→食べない 10.1%	母子手帳交付数 n=217	母子手帳交付時:朝食を食べていましたか→食べない 9.0%	母子手帳交付数 n=156	平成25年度甲州市母子保健縦断調査(母子手帳交付時)	平成29年度甲州市母子保健縦断調査(母子手帳交付時)
	★子どもの就寝時間が22時以降の児の割合	夜、平均して何時ごろ寝ますか→22時以降 1歳6か月児 17.8% 3歳児 27.0% 5歳児 29.2%	1歳6か月児 n=187 3歳児 n=191 5歳児 n=257	夜、平均して何時ごろ寝ますか→22時以降 1歳6か月児 11.0% 3歳児 28.2% 5歳児 30.5%	1歳6か月児 n=173 3歳児 n=209 5歳児 n=210	平成25年度甲州市母子保健縦断調査(1歳6か月児、3歳児、5歳児)	平成29年度甲州市母子保健縦断調査(1歳6か月児、3歳児、5歳児)
	★戸外でよく遊ぶ児の割合	3歳児:戸外で遊んだり散歩することがありますか→よくある・ときどきある 100% 5歳児:戸外・室内どちらで遊ぶことが多いですか→戸外12.8% 室内外両方77.8%→ 90.6%	3歳児 n=191 5歳児 n=257	3歳児:戸外で遊んだり散歩することがありますか→よくある・ときどきある 99.0% 5歳児:戸外・室内どちらで遊ぶことが多いですか→戸外10.9% 室内外両方76.8%→87.7%	3歳児 n=210 5歳児 n=211	平成25年度甲州市母子保健縦断調査(3歳児、5歳児)	平成29年度甲州市母子保健縦断調査(3歳児、5歳児)
	(参考資料)						
	虫歯のない児の割合	むし歯のない児数/乳幼児健康診査受診児数×100 1歳6か月児 98.9% 2歳児 89.1% 3歳児 85.8% 5歳児 50.6%	1歳6か月児 n=187 2歳児 n=221 3歳児 n=190 5歳児 n=257	むし歯のない児数/乳幼児健康診査受診児数×100 1歳6か月児 100.0% 2歳児 90.2% 3歳児 77.9% 5歳児 55.9%	1歳6か月児 n=166 2歳児 n=164 3歳児 n=206 5歳児 n=202	平成25年度甲州市健康増進課調べ	平成30年度甲州市健康増進課調べ
	育児期間中の両親の喫煙率	現在あなたはたばこを吸っていますか→はい 1歳6か月児 6.5% 現在あなたの配偶者はたばこを吸っていますか→はい 1歳6か月児 40.9%	1歳6か月児 n=187	現在あなたはたばこを吸っていますか→はい 1歳6か月児 4.8% 現在あなたの配偶者はたばこを吸っていますか→はい 1歳6か月児 32.5%	母親 n=165 父親 n=154	平成25年度甲州市母子保健縦断調査(1歳6か月児)	平成30年度乳幼児健康診査問診項目(1歳6か月児)
	妊娠中の妊婦の飲酒率	妊娠中のあなた(お母さん)の飲酒はどうか→あり 3・4か月児 0%(参考)	3・4か月児 n=30	妊娠中のあなた(お母さん)の飲酒はどうか→あり 3・4か月児 0%	3・4か月児 n=147	平成25年度健やか親子21最終評価(3・4か月児)	平成30年度乳幼児健康診査問診項目(3・4か月児)
	おやつを時間を決めて与えている割合	お子様のおやつをどのように与えていますか→時間を決めて与える 1歳6か月児 63.8% 3歳児 56.6% 5歳児 49.0%	1歳6か月児 n=187 3歳児 n=191 5歳児 n=257	お子様のおやつをどのように与えていますか→時間を決めて与える 1歳6か月児 61.1% 3歳児 57.2% 5歳児 56.9%	1歳6か月児 n=172 3歳児 n=208 5歳児 n=211	平成25年度甲州市母子保健縦断調査(1歳6か月児、3歳児、5歳児)	平成29年度甲州市母子保健縦断調査(1歳6か月児、3歳児、5歳児)
	テレビを1日4時間以上見る児の割合	お子様はテレビやビデオ・DVDを一日どのくらい見ますか→4~5時間、5時間以上 1歳6か月児 3.2% 3歳児 5.9% 5歳児 3.5%	1歳6か月児 n=187 3歳児 n=191 5歳児 n=257	お子様はテレビやビデオ・DVDを一日どのくらい見ますか→4~5時間、5時間以上 1歳6か月児 2.3% 3歳児 4.8% 5歳児 3.8%	1歳6か月児 n=173 3歳児 n=210 5歳児 n=212	平成25年度甲州市母子保健縦断調査(1歳6か月児、3歳児、5歳児)	平成29年度甲州市母子保健縦断調査(1歳6か月児、3歳児、5歳児)
仕上げ磨きをする親の割合	保護者が、毎日、仕上げ磨きをしていますか→仕上げ磨きをしている 1歳6か月児 68.0%(参考) 3歳児 87.5%(参考)	1歳6か月児 n=25 3歳児 n=40	保護者が、毎日、仕上げ磨きをしていますか→仕上げ磨きをしている 1歳6か月児 93.8% 3歳児 95.7%	1歳6か月児 n=160 3歳児 n=208	平成26年度健やか親子21追加調査(1歳6か月児、3歳児)	平成30年度乳幼児健康診査問診項目(1歳6か月児、3歳児)	
環境整備の指標	★第1子のすくすく学級への参加率	延参加回数 198回 第1子のすくすく学級への延参加回数/第1子の全参加予定回数×100 参加率 68.3%	n=290 (3課+救命講習、7クール合計、第1子の全参加回数)	第1子のすくすく学級への延参加回数/第1子の全参加予定回数×100 参加率49.8%	n=259	平成25年度甲州市健康増進課調べ	平成30年度甲州市健康増進課調べ
	★子ども料理教室の開催数、参加人数	開催数:22回 参加延人数787人	-	開催数:22回 参加延人数772人	-	平成25年度甲州市健康増進課調べ	平成30年度甲州市健康増進課調べ

指標名	ベースライン		中間評価		ベースラインのデータソース	中間評価のデータソース	
	調査項目及びデータ	標本数	調査項目及びデータ	標本数			
健康水準	★ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合 (基盤課題A再掲)	お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか →はい 3・4か月児 86.7%(参考) 1歳6か月児 — 3歳児 —	3・4か月児 n=30 1歳6か月児 — 3歳児 —	お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか →はい 3・4か月児 99.3% 1歳6か月児 75.2% 3歳児 68.8%	3・4か月児 n=146 1歳6か月児 n=165 3歳児 n=208	平成25年度健やか親子21最終評価(3・4か月児)	平成30年度乳幼児健康診査問診項目(3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)
	★育てにくさを感じたときに対処できる親の割合	あなたは、お子さんに対して、育てにくさを感じていますか→いつも感じる、時々感じる→育てにくさを感じた時に、相談先を知っているなど、何らかの解決する方法を知っていますか →はい 3・4か月児 100%(参考) 1歳6か月児 66.7%(参考) 3歳児 76.9%(参考)	3・4か月児 n=23 1歳6か月児 n=25 3歳児 n=40	あなたは、お子さんに対して、育てにくさを感じていますか→いつも感じる、時々感じる→育てにくさを感じた時に、相談先を知っているなど、何らかの解決する方法を知っていますか→はい 3・4か月児 90.9% 1歳6か月児 91.7% 3歳児 84.6%	3・4か月児 n=22 1歳6か月児 n=24 3歳児 n=52	平成26年度健やか親子21追加調査(3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)	平成30年度乳幼児健康診査問診項目(3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)
重点課題② 健康行動の指標	★子どもの社会性の発達過程について知っている親の割合	3・4か月児：生後半年から1歳になる頃までの多くの子どもは、「親の後追いをする」ことを知っていますか→はい 1歳6か月児：1歳半から2歳になる頃までの多くの子どもは、「何かに興味を持った時に、指さして伝えようとする」ことを知っていますか→はい 3歳児：3歳から4歳になる頃までの多くの子どもは、「他の子どもから誘われれば遊びに加わろうとする」ことを知っていますか→はい	3・4か月児 n=23 1歳6か月児 n=25 3歳児 n=40	3・4か月児：生後半年から1歳になる頃までの多くの子どもは、「親の後追いをする」ことを知っていますか→はい 1歳6か月児：1歳半から2歳になる頃までの多くの子どもは、「何かに興味を持った時に、指さして伝えようとする」ことを知っていますか→はい 3歳児：3歳から4歳になる頃までの多くの子どもは、「他の子どもから誘われれば遊びに加わろうとする」ことを知っていますか→はい 3・4か月児 87.8% 1歳6か月児 96.3% 3歳児 80.2%	3・4か月児 n=147 1歳6か月児 n=162 3歳児 n=207	平成26年度健やか親子21追加調査(3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)	平成30年度乳幼児健康診査問診項目(3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)
	★子育てについて気軽に相談できる人がいる割合 (基盤課題A再掲)	子育てについて気軽に相談できる人はいいますか→はい 3・4か月児 100%(参考) 1歳6か月児 — 3歳児 —	3・4か月児 n=30 1歳6か月児 — 3歳児 —	子育てについて気軽に相談できる人はいいますか→はい 3・4か月児 96.9% 1歳6か月児 96.9% 3歳児 97.1%	保育所巡回訪 +A1:114相談者数	平成25年度健やか親子21最終評価(3・4か月児)	平成30年度乳幼児健康診査問診項目(3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)
	★育児に自信を持つ母親の割合	あなたは育児に自信を持ってないことがありますか→いいえ 3・4か月児 26.7%(参考) 1歳6か月児 — 3歳児 —	3・4か月児 n=30 1歳6か月児 — 3歳児 —	あなたは育児に自信を持ってないことがありますか→いいえ 3・4か月児 75.4% 1歳6か月児 56.4% 3歳児 48.7%	3・4か月児 n=65 1歳6か月児 n=165 3歳児 n=195	平成25年度健やか親子21最終評価(3・4か月児)	平成30年度乳幼児健康診査問診項目(3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)
	(参考資料)						
	乳幼児健診満足度	平成27年度より調査予定	—	調査未実施	—	—	—
他の子どもと比較して我が子は育てにくいと感じる親の割合	他のお子様と比べて、我が子は育てにくいと感じることがありますか→よくそう思う・時々そう思う 1歳6か月児 17.6% 3歳児 26.9% 5歳児 24.9%	3・4か月児 n=187 1歳6か月児 n=191 3歳児 n=257	他のお子様と比べて、我が子は育てにくいと感じることがありますか→よくそう思う・時々そう思う 1歳6か月児 12.2% 3歳児 29.1% 5歳児 16.0%	3・4か月児 n=172 1歳6か月児 n=210 3歳児 n=212	平成25年度甲州市母子保健縦断調査(1歳6か月児、3歳児、5歳児)	平成29年度甲州市母子保健縦断調査(1歳6か月児、3歳児、5歳児)	
環境整備の指標	★すこやか発達相談の開催数	実施回数 定期6回/年 追加4回/年 合計 10回/年	—	言語相談 6回 心理相談 7回 嚔下相談 2回 合計 15回/年	—	平成25年度甲州市健康増進課調べ	平成30年度甲州市健康増進課調べ
	(参考資料)						
	発達障害早期総合支援ネットワーク会議の開催数	会議：3回 研修会：1回	—	会議：3回 研修会：1回	—	平成25年度甲州市健康増進課調べ	平成30年度甲州市健康増進課調べ
保育所巡回訪問の巡回数と相談者数	訪問回数：16回 延相談児数：101人	—	訪問回数：13回 延相談児数：83人	—	平成25年度甲州市健康増進課調べ	平成30年度甲州市健康増進課調べ	

指標名	ベースライン		中間評価		ベースラインのデータソース	中間評価のデータソース	
	調査項目・データ	標本数	調査項目・データ	標本数			
健康水準	★子どもを育てることが楽しいと思える者の割合	あなたは、子どもを育てることが楽しいと思えますか→よく思う・時々そう思う 1歳6か月児 100% 3歳児 97.9% 5歳児 95.3%	1歳6か月児 n=187 3歳児 n=191 5歳児 n=257	あなたは、子どもを育てることが楽しいと思えますか→よく思う・時々そう思う 1歳6か月児 98.8% 3歳児 98.6% 5歳児 99.1%	1歳6か月児 n=171 3歳児 n=210 5歳児 n=212	平成25年度甲州市母子保健縦断調査(1歳6か月児、3歳児、5歳児)	平成29年度甲州市母子保健縦断調査(1歳6か月児、3歳児、5歳児)
	★子どもを虐待していると思ふ親の割合(ベースライン) ↓ ★乳幼児期に体罰や暴言等によらない子育てをしている親の割合(中間評価)	あなた、または、あなたのパートナーは子どもを虐待しているのではないかと思うことはありますか→はい 3・4か月児 0%(参考) 1歳6か月児 0%(参考) 3歳児 2.5%(参考)	3・4か月児 n=23 1歳6か月児 n=25 3歳児 n=40	この数か月の間に、ご家庭で以下の事があったか。あてはまるものすべてに〇→いずれも回答しなかった者 ・しつけのし過ぎがあった ・感情的に叩いた ・乳幼児だけを家に残して外出した ・長時間食事を与えなかった ・感情的な言葉で怒鳴った ・子どもの口をふさいだ ・子どもを激しく揺さぶった 3・4か月児 89.8% 1歳6か月児 77.7% 3歳児 63.9%	3・4か月児 n=147 1歳6か月児 n=166 3歳児 n=208	平成26年度健やか親子21追加調査(3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)	平成30年度乳幼児健康診査問診項目(3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)
	★感情的に子を怒ったことがある親の割合	あなたはお子様をついつい感情的に怒ることがありますか→よく思う 1歳6か月児 11.2% 3歳児 19.5% 5歳児 23.3%	1歳6か月児 n=187 3歳児 n=191 5歳児 n=257	あなたはお子様をついつい感情的に怒ることがありますか→よく思う 1歳6か月児 5.8% 3歳児 17.1% 5歳児 19.8%	1歳6か月児 n=173 3歳児 n=210 5歳児 n=212	平成25年度甲州市母子保健縦断調査(1歳6か月児、3歳児、5歳児)	平成29年度甲州市母子保健縦断調査(1歳6か月児、3歳児、5歳児)
	(参考指標)						
	児童虐待による死亡数	平成25年度子育て支援課調べ 0人	—	平成30年度子育て支援課調べ 0人	—	平成25年度甲州市子育て支援課調べ	平成30年度甲州市子育て支援課調べ
	虐待件数	市が児童虐待として相談受理した件数 身体的虐待 3件 心理的虐待 5件 ネグレクト 4件 合計12件	—	市が児童虐待として相談受理した件数 身体的虐待 6件 心理的虐待 37件(うち面前DV27件) ネグレクト 14件 合計36件	—	平成25年度甲州市子育て支援課調べ	平成30年度甲州市子育て支援課調べ
	★乳幼児健康診査の受診率(3か月、7か月)	乳児健康診査を受診した児の人数/対象児の人数×100 3か月児97.8% 7か月児99.4% 【対象児のとり方】 年度中の健診対象児とする。ただし、翌年度の健診受診予定の児については、今年度対象者から除き、翌年度に繰り越す。海外居住、長期入院ケースは対象者・受診者に含めない。保護ケースや病院フォローされているケースは、対象者・受診者・未受診者に含める。	3か月児 n=183 7か月児 n=181	乳児健康診査を受診した児の人数/対象児の人数×100 3か月児 96.7% 7か月児 95.9% 【対象児のとり方】 年度中の健診対象児とする。ただし、翌年度の健診受診予定の児については、今年度対象者から除き、翌年度に繰り越す。海外居住、長期入院ケースは対象者・受診者に含めない。保護ケースや病院フォローされているケースは、対象者・受診者・未受診者に含める。	3か月児 n=152 7か月児 n=172	平成25年度甲州市母子保健事業報告	平成30年度甲州市母子保健事業報告
	★現在の子育ての状況について満足している者の割合	現在の子育て状況はいかがですか→満足している・まあ満足している 3・4か月児 100%(参考) 1歳6か月児 — 3歳児 —	3・4か月児 n=30(参考) 1歳6か月児 — 3歳児 —	現在の子育て状況はいかがですか→満足している・まあ満足している 3・4か月児 96.4% 1歳6か月児 94.5% 3歳児 88.3%	3・4か月児 n=137 1歳6か月児 n=164 3歳児 n=208	平成25年度健やか親子21最終評価	平成30年度乳幼児健康診査問診項目(3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)
	★ストレスを感じている者の割合	あなたはストレスを感じることがありますか→いつも感じている 1歳6か月児 4.8% 3歳児 12.1% 5歳児 12.1%	1歳6か月児 n=187 3歳児 n=191 5歳児 n=257	あなたはストレスを感じることがありますか→いつも感じている 1歳6か月児 12.3% 3歳児 17.1% 5歳児 14.6%	1歳6か月児 n=171 3歳児 n=210 5歳児 n=212	平成25年度甲州市母子保健縦断調査	平成29年度甲州市母子保健縦断調査
	(参考指標)						
現在の暮らしの経済的な状況を総合的にみて、どう感じているか	現在の暮らしの経済的な状況を総合的にみて、どう感じていますか→やややましい・大変苦しい 3・4か月児 26.7% 1歳6か月児 — 3歳児 —	3・4か月児 n=30	調査未実施	—	平成25年度健やか親子21最終評価(3・4か月児)	—	
この1か月間、どうしても物事に対して興味やワクワク、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか→はい	この1か月間、どうしても物事に対して興味やワクワク、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか→はい 1歳6か月児 33.7% 3歳児 32.6% 5歳児 30.8%	1歳6か月児 n=187 3歳児 n=191 5歳児 n=257	この1か月間、どうしても物事に対して興味やワクワク、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか→はい 1歳6か月児 8.1% 3歳児 13.4% 5歳児 9.4%	1歳6か月児 n=173 3歳児 n=209 5歳児 n=212	平成25年度甲州市母子保健縦断調査(1歳6か月児、3歳児、5歳児)	平成29年度甲州市母子保健縦断調査(1歳6か月児、3歳児、5歳児)	
★生後3か月までの母乳を与えている割合	3か月時点で母乳育児を行っている者の数/対象となる者の数×100 母乳 69.8% 混合 20.1% 合計89.9%	n=187	3か月時点で母乳育児を行っている者の数/対象となる者の数×100 合計88.8%	n=143	平成25年度甲州市健康増進課調べ	平成30年度甲州市健康増進課調べ	
★2か月児全戸訪問実施率	平成25年度に対象となった児187名(毎月抽出した対象者数を合算)実施児数 179名 訪問した児の人数/対象となる児の人数×100 179/187×100 ⇒95.7%	n=187	平成30年度に対象となった児(毎月抽出した対象者数を合算)訪問した児の人数/対象となる児の人数×100 94.0%	n=149	平成25年度甲州市健康増進課調べ	平成30年度甲州市健康増進課調べ	
(参考指標)							
要保護児童対策地域協議会の実務者会議の実施数	実施数 12回/年 参加者:甲州市(子育て支援課 児童福祉担当、健康増進課 健康づくり担当、福祉課 障害福祉担当)、甲州市教育委員会、峡東教育事務所	—	実施数 12回/年 参加者:甲州市(子育て支援課 児童福祉担当、健康増進課 健康づくり担当、福祉課 障害者相談支援担当)、甲州市教育委員会、峡東教育事務所	—	平成25年度健康増進課調べ	平成30年度健康増進課調べ	

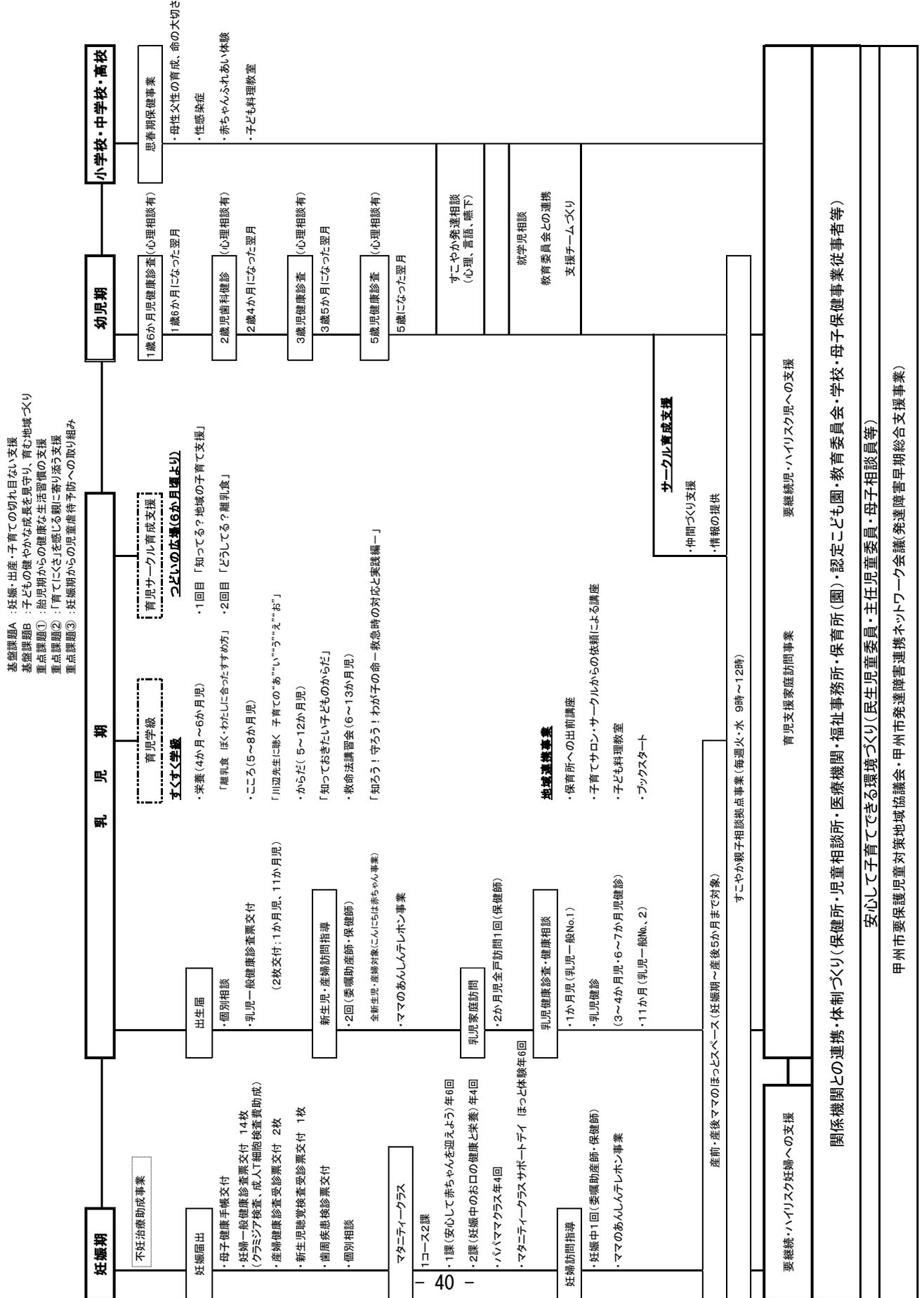
<参考資料>

1. 「すこやか親子こうしゅう」推進体制図



平成31(令和元)年度 甲州市 母子保健体系図 甲州市母子保健計画の推進:「すべての親と子が健やかで心豊かに暮らせるまち」をめざして

2. 甲州市母子保健事業体系図



3. 中間評価の経過

令和元年 5月 30日	母子保健計画中間評価に関する全体打合せ会
令和元年 7月 22日	第1回 甲州市母子保健計画 担当ワーキング
令和元年 8月 8日	第2回 甲州市母子保健計画 担当ワーキング
令和元年 8月 15日	第3回 甲州市母子保健計画 担当ワーキング
令和元年 8月 26日	第4回 甲州市母子保健計画 担当ワーキング
令和元年 9月 26日	第5回 甲州市母子保健計画 担当ワーキング
令和元年 10月 7日	第6回 甲州市母子保健計画 担当ワーキング
令和元年 10月 16日	第7回 甲州市母子保健計画 担当ワーキング
令和2年 2月 10日	第8回 甲州市母子保健計画 担当ワーキング
令和元年 7月 29日	第1回 ママのあんしんネットワーク会議
令和元年 12月 23日	第2回 ママのあんしんネットワーク会議 ワーキング
令和2年 2月 17日	第2回 ママのあんしんネットワーク会議

甲州市母子保健計画
「すこやか親子こうしゅう」中間評価報告書

発行日 令和2年3月
発行・編集 甲州市役所 健康増進課
〒404-8501 山梨県甲州市塩山上於曾 1085-1
TEL 0553-32-2111（代表）
FAX 0553-32-3072